
龍ヶ崎のまちづくりに関する
アンケート調査
(市民アンケート)
結果報告書

令和5年10月
龍ヶ崎市

－ 目 次 －

1. 市民アンケート調査概要	2
1.1. 調査目的	2
1.2. 調査対象者	2
1.3. 調査方法	2
1.4. 調査期間	2
2. 回収結果	2
3. 集計結果	3
3.1. 回答者属性	3
3.2. 定住意識	16
3.3. 生活環境	26
3.4. 魅力や課題	29
3.5. 今後のまちづくり	41
3.6. コロナ禍と現在での生活の変化	48
3.7. 龍ヶ崎のまちづくりについての意見	50

1. 市民アンケート調査概要

1.1. 調査目的

本調査は、市民のまちづくりに対する現状認識や、将来のまちづくりに向けた意向を把握し、都市計画マスタープランの見直しの基礎資料とすることを目的として実施したものである。

1.2. 調査対象者

無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,000 人

1.3. 調査方法

郵送による調査及び Google form による調査

1.4. 調査期間

令和 5 年 8 月 1 日～令和 5 年 8 月 31 日（月）

2. 回収結果

- ・配布数（対象人数）：2000 票
- ・回収票数：765 票（郵送回答：547 票、WEB 回答：218 票）
- ・回収率：38.3%
- ・有効回答票数：765 票（郵送回答：547 票、WEB 回答：218 票）
- ・有効回答率：38.3%

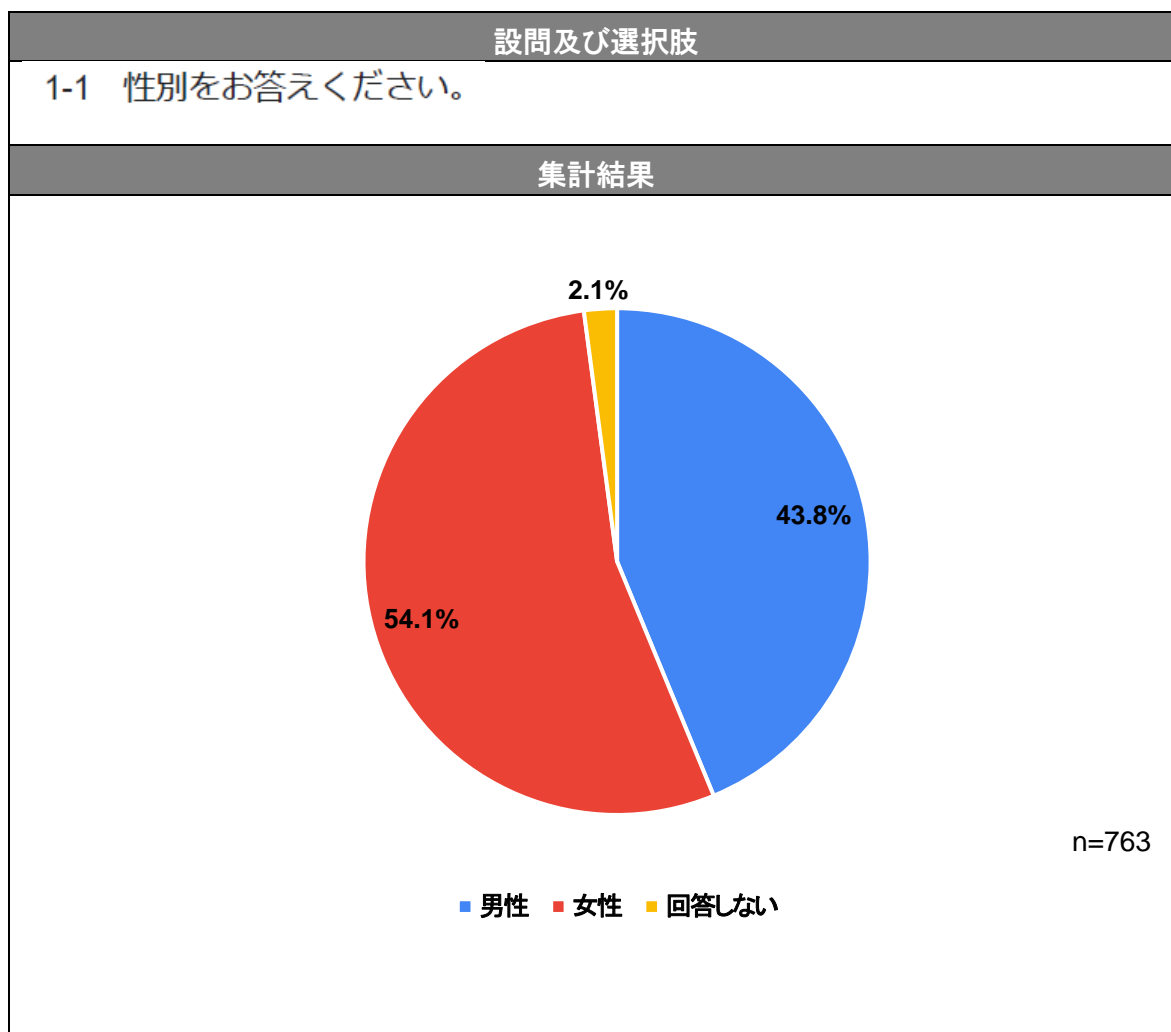
3. 集計結果

集計結果を以下に示す。なお、“n”は無回答を除く回答者数を示す。

3.1. 回答者属性

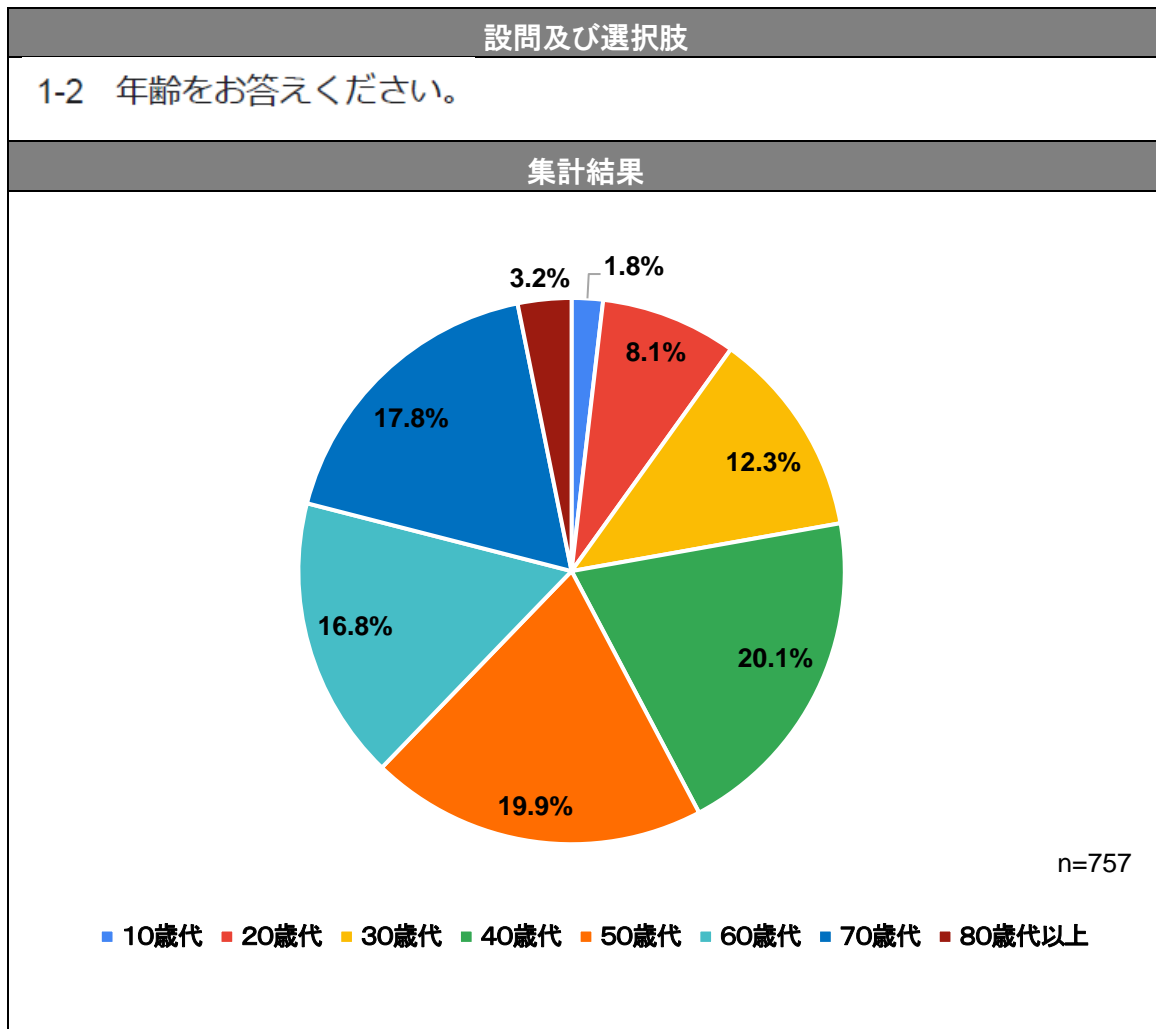
(1) 性別

全体の 43.8%が「男性」、54.1%が「女性」となっている。



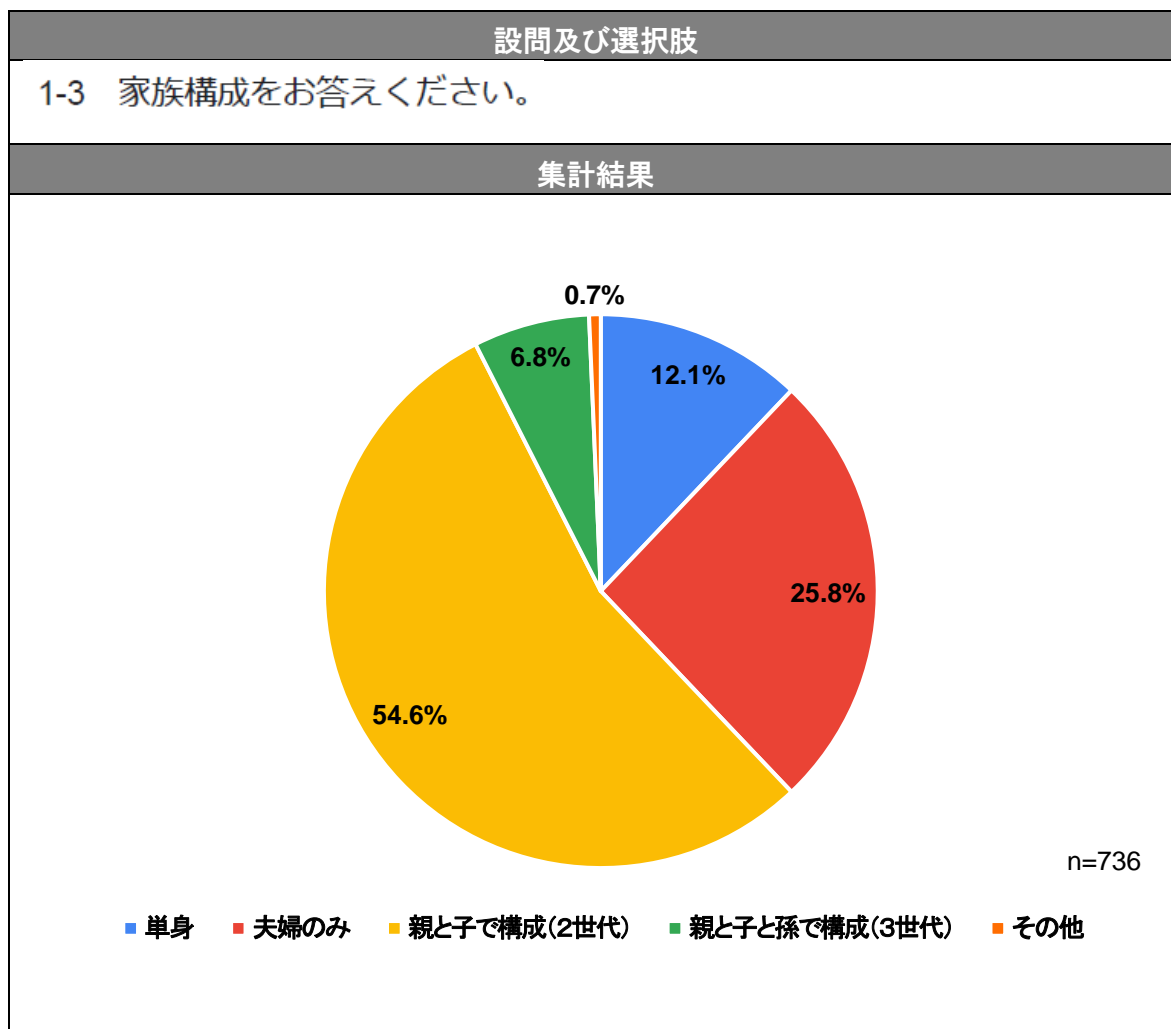
(2) 年齢

「40歳代」が20.1%で最も高く、次いで「50歳代」が19.9%、「60歳代」が16.8%となっている。



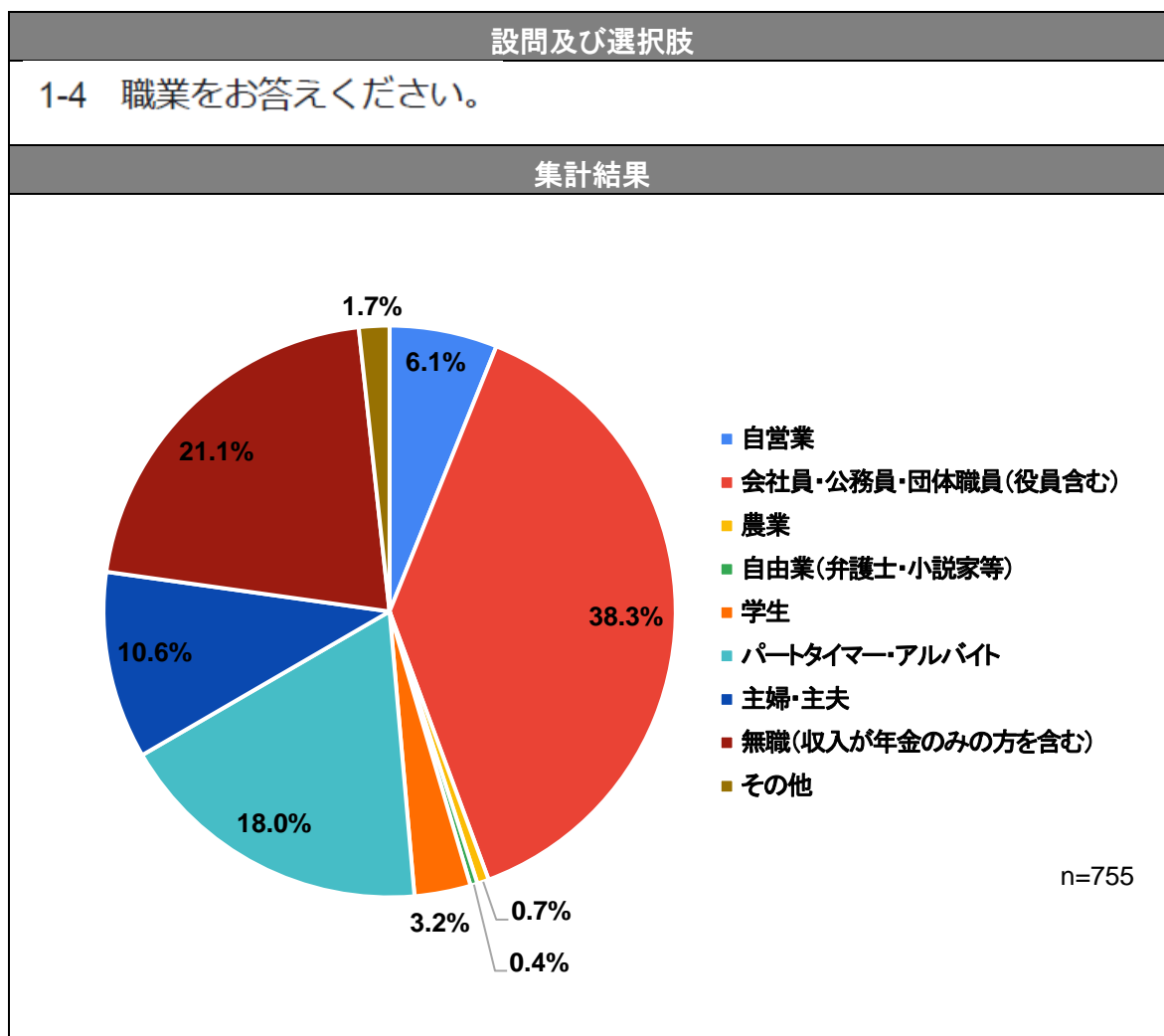
(3) 家族構成

「親と子で構成（2世代）」が54.6%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.8%、「単身」が12.1%、「親と子と孫で構成（3世代）」が6.8%の順となっている。



(4) 職業

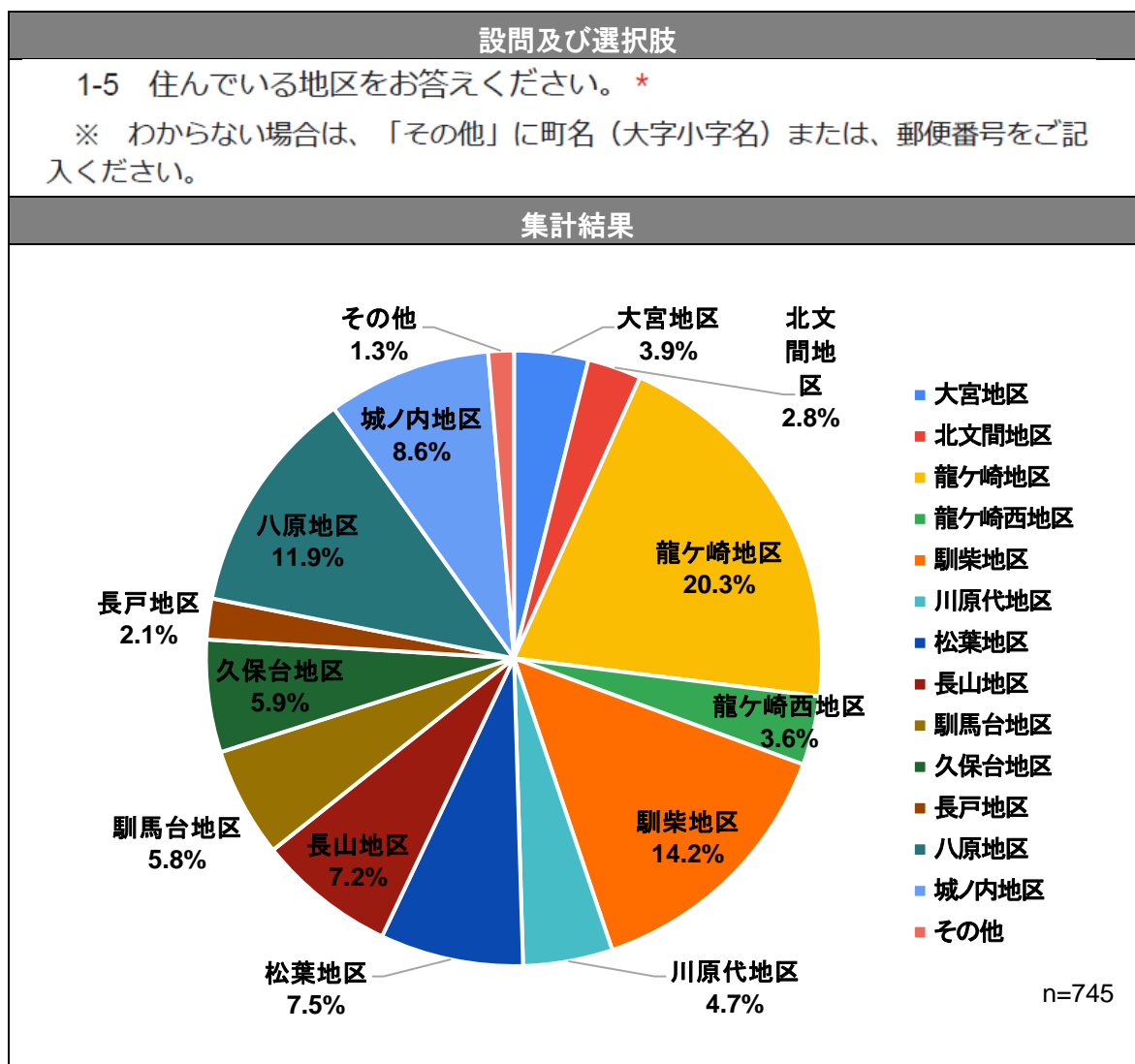
「会社員・公務員・団体職員（役員含む）」が38.3%で最も高く、次いで「無職（収入が年金のみの方を含む）」が21.1%、「パートタイマー・アルバイト」が18.0%、「主婦・主夫」が10.6%の順となっている。



(5) 居住地区

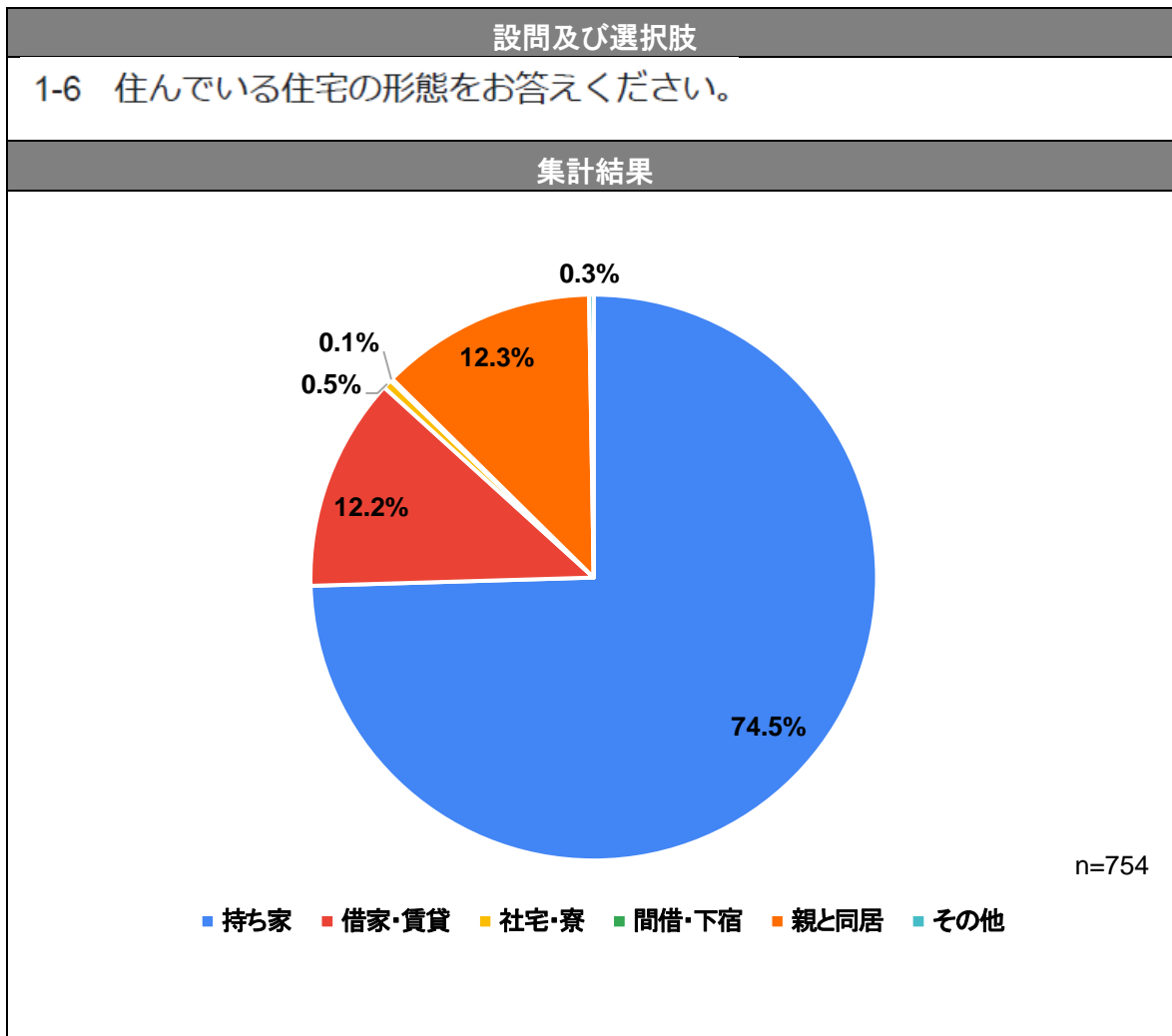
「龍ヶ崎地区」が20.3%で最も高く、次いで「駒柴地区」が14.2%、「八原地区」が11.9%、「城ノ内地区」が8.6%の順となっている。

なお、郵便番号や町名で回答があった場合、対応する地区に割り振りを行った。



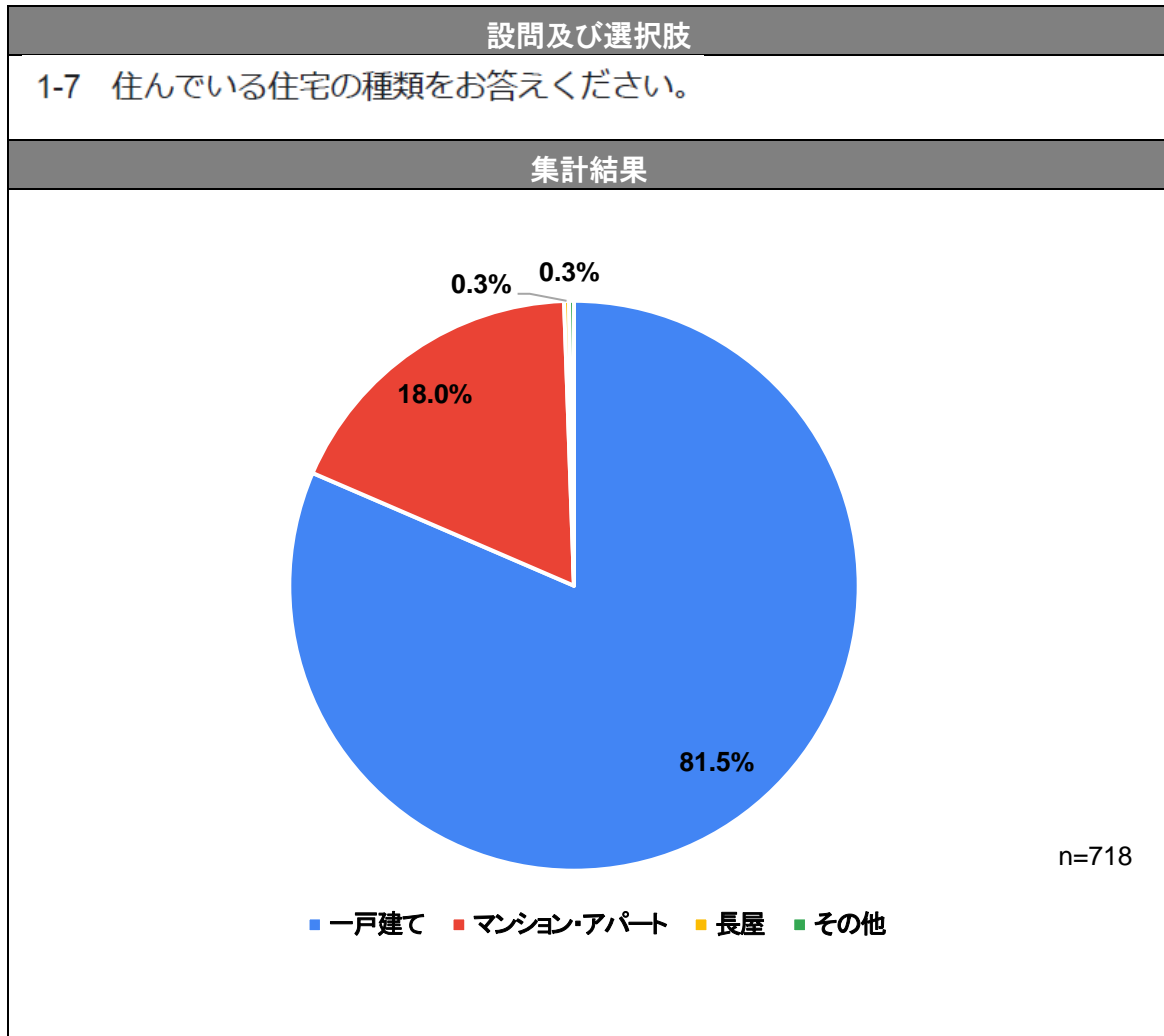
(6) 住宅（住宅の形態）

「持ち家」が 74.5%で最も高く、次いで「親と同居」が 12.3%、「借家・賃貸」が 12.2%、「社宅・寮」が 0.5%の順となっている。



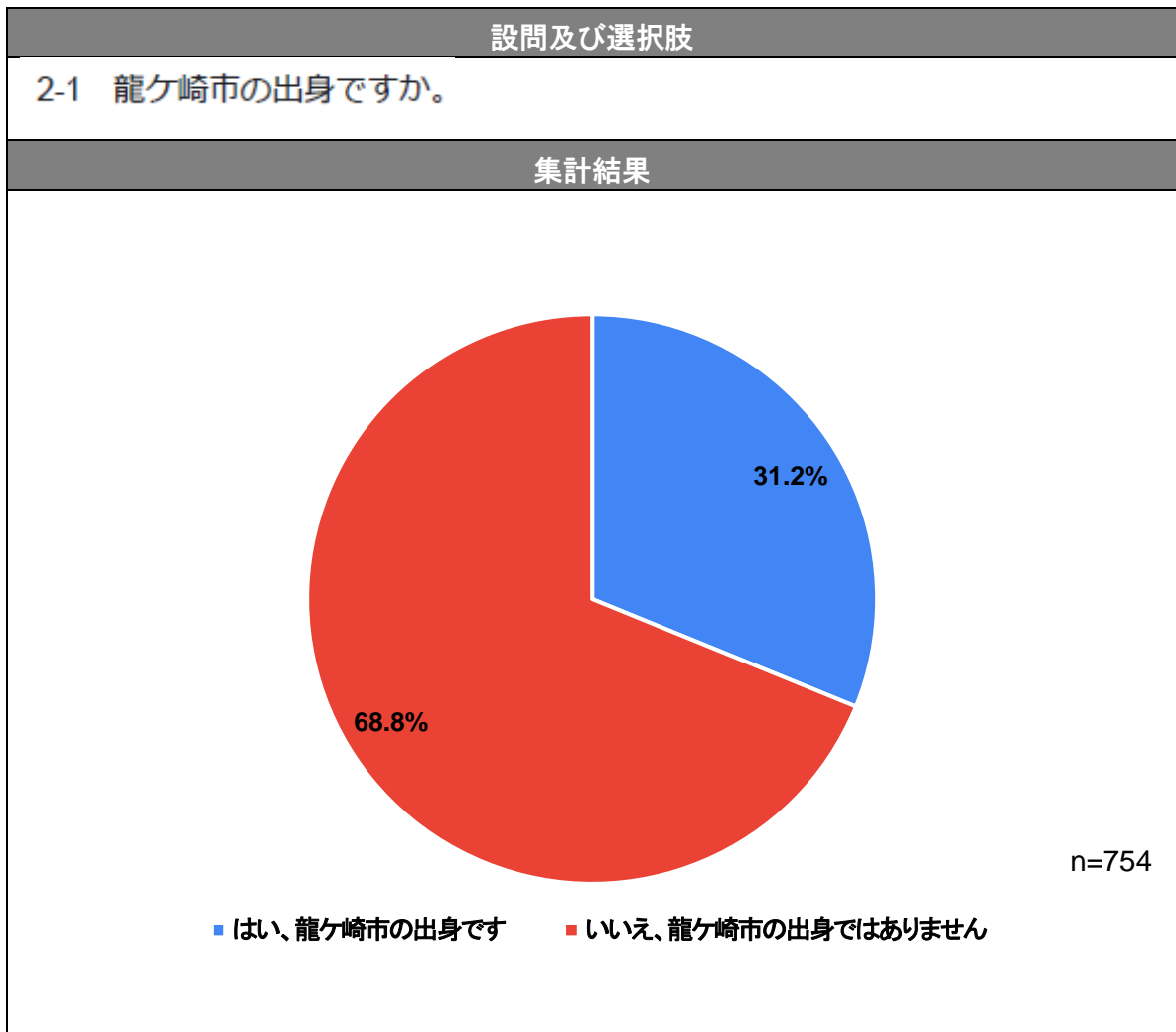
(7) 住宅（住宅の種類）

「一戸建て」が81.5%で最も高く、次いで「マンション・アパート」が18.0%の順となっている。



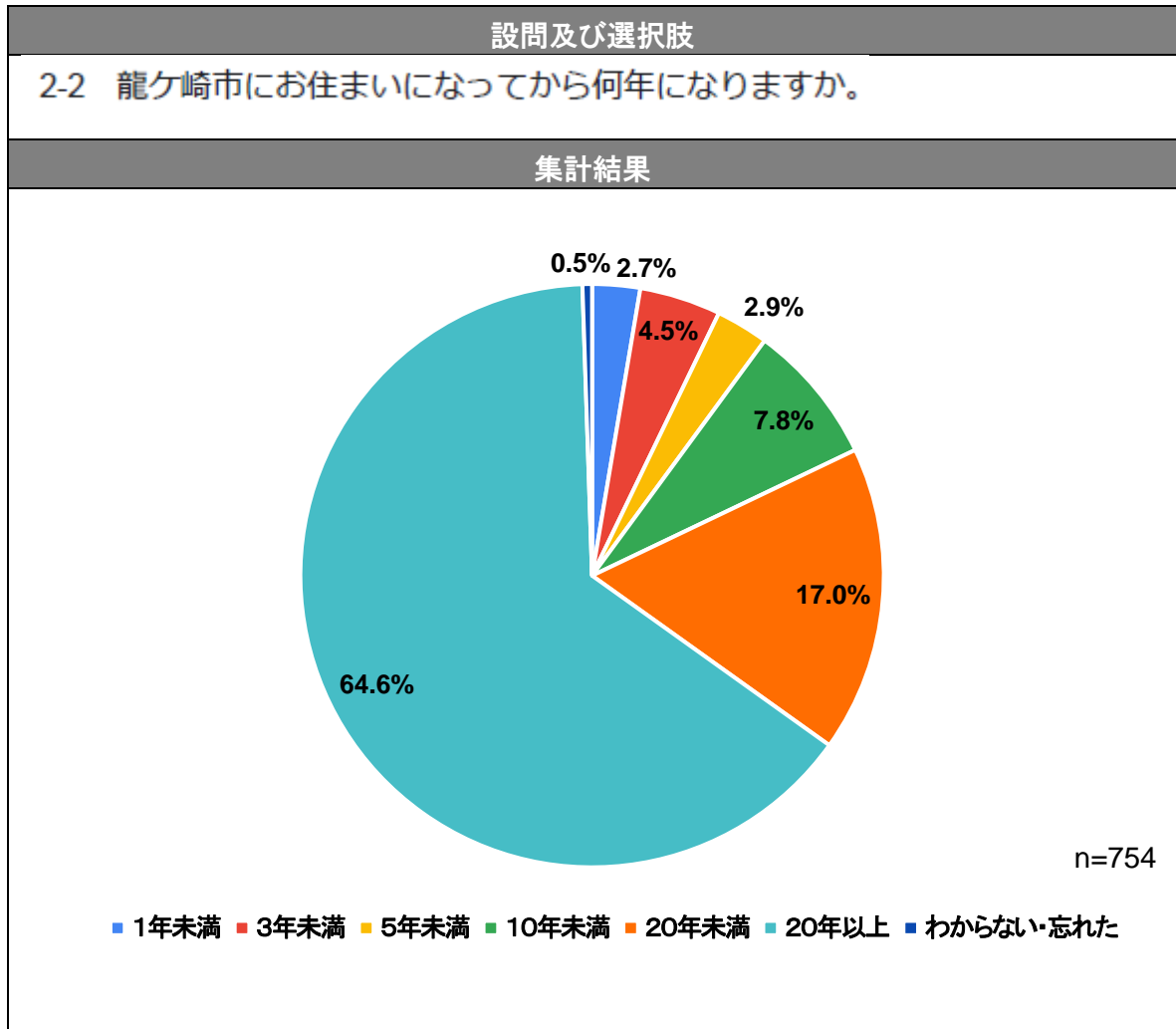
(8) 出身地

龍ヶ崎市出身者が 31.2%、龍ヶ崎出身ではない方が 68.8%となっている。



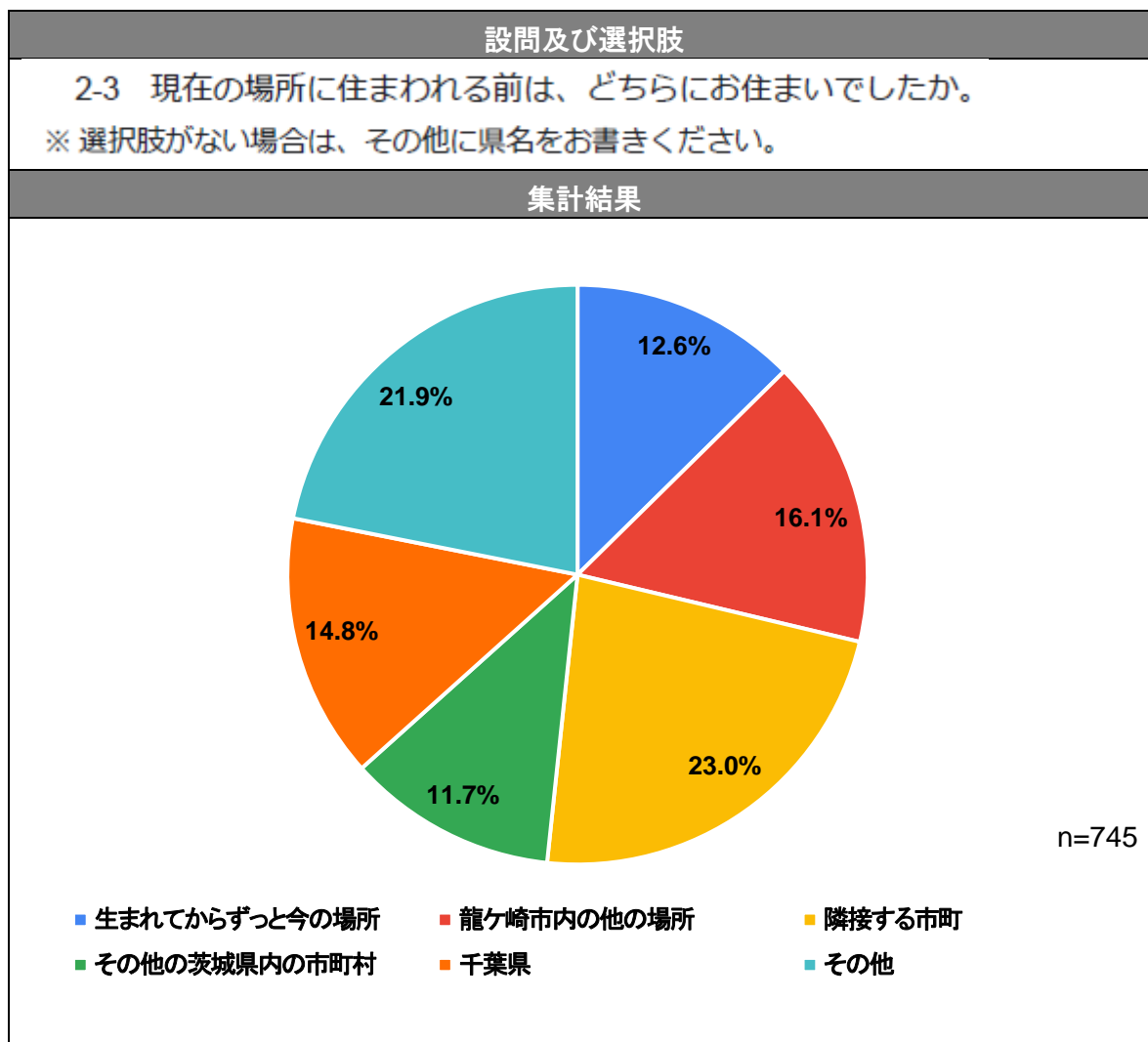
(9) 龍ヶ崎在住年数

「20年以上」が64.6%で最も高く、次いで「20年未満」が17.0%、「10年未満」が7.8%、「3年未満」が4.5%の順となっている。



(10) 過去の居住地

「隣接の市町」が 23.0%、「その他」が 21.9%、「龍ヶ崎市内の他の場所」が 16.1%、「千葉県」が 14.8%となっており、茨城県内が多くなっている。

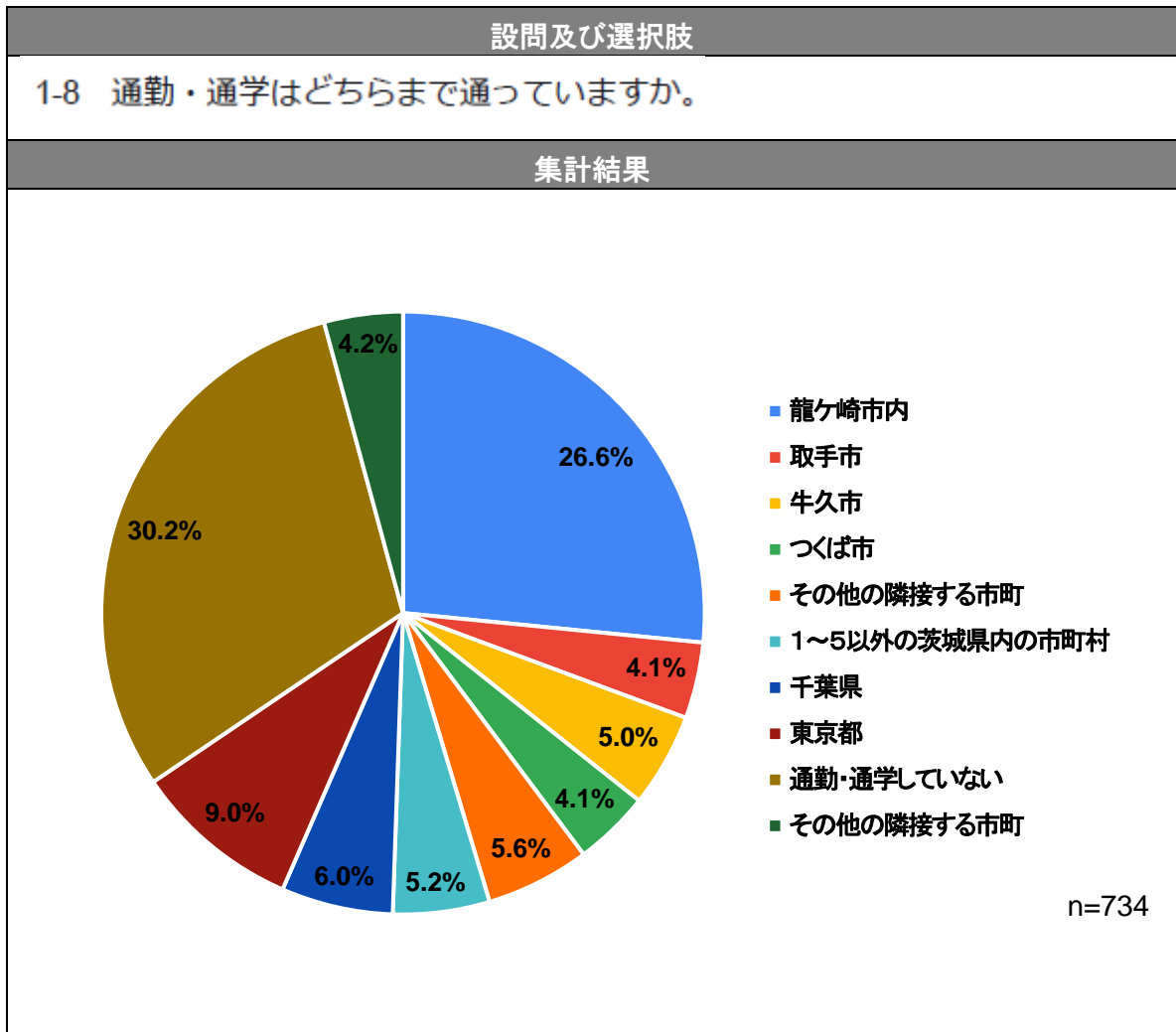


その他の回答（一部抜粋）

北海道、福島県、栃木県、東京都、埼玉県、神奈川県、長野県、大阪府、奈良県、徳島県、西ドイツ

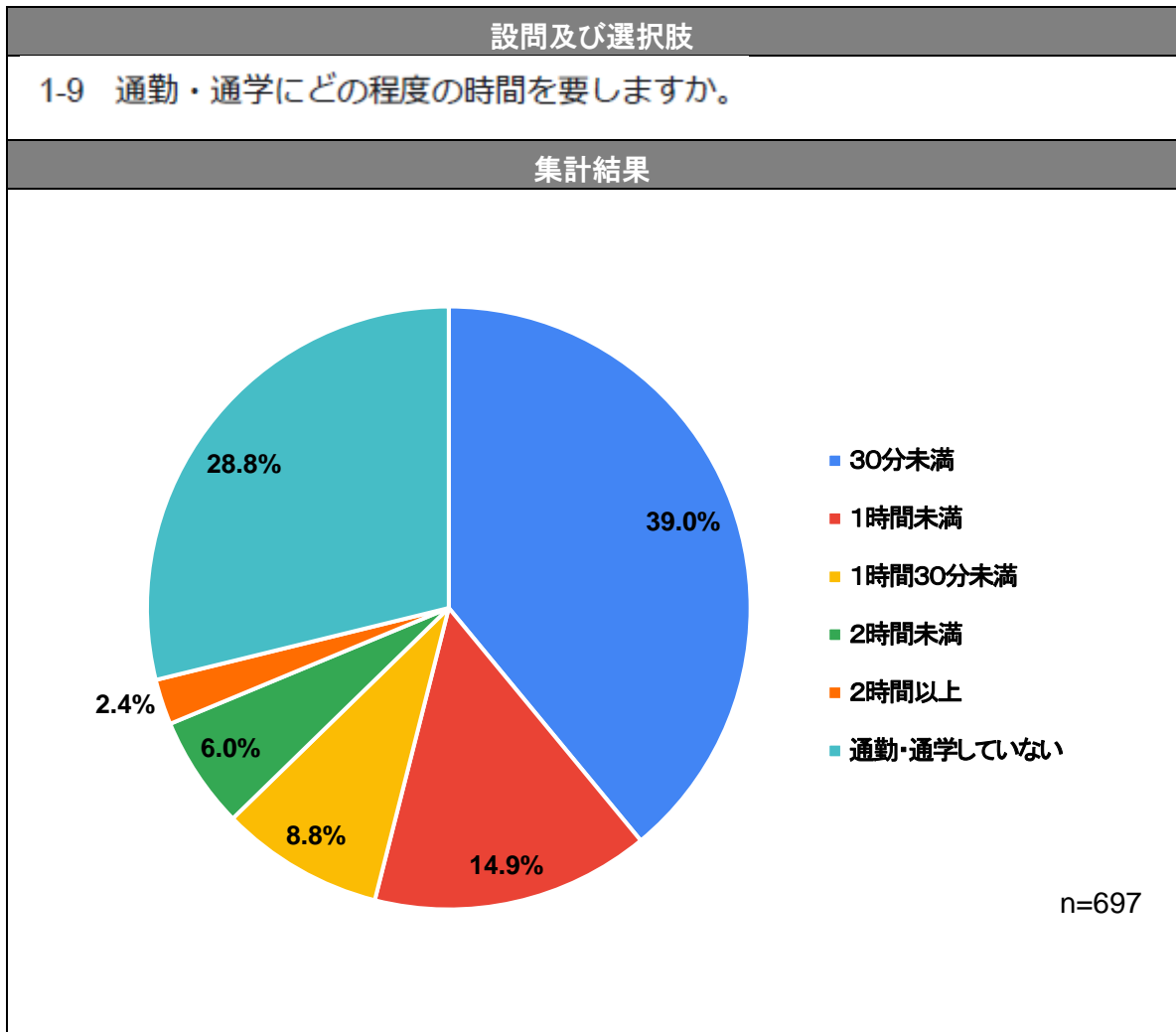
(11) 通勤・通学の場所

「通勤・通学していない」が30.2%で最も高く、次いで「龍ヶ崎市内」が26.6%、「東京都」が9.0%、「千葉県」が6.0%の順となっている。



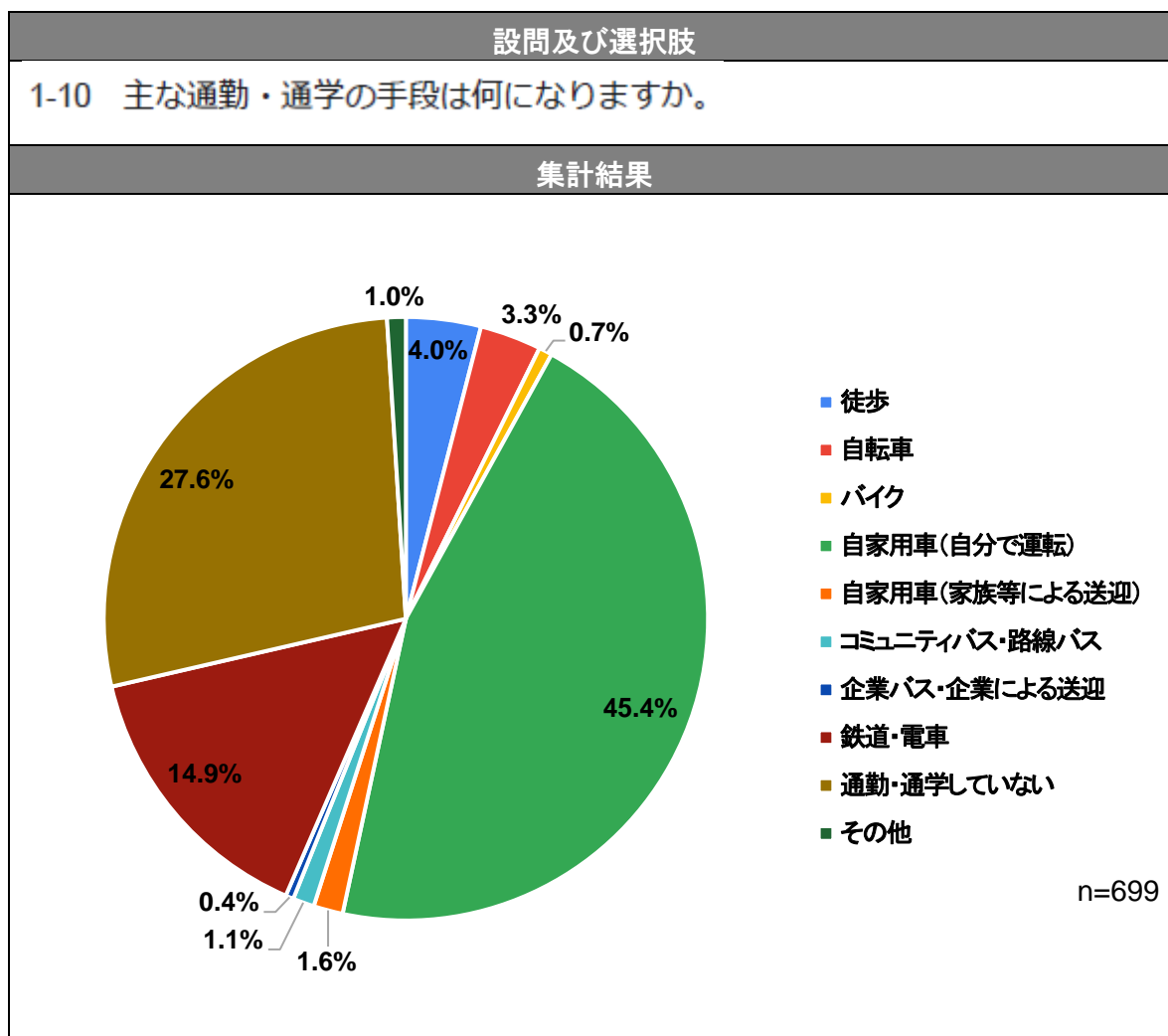
(12) 通勤・通学の所要時間

「30分未満」が39.0%で最も高く、次いで「通勤・通学していない」が28.8%、「1時間未満」が14.9%、「1時間30分未満」が8.8%の順となっている。



(13) 通勤・通学的手段

「自家用車（自分で運転）」が 45.4%で最も高く、次いで「通勤・通学していない」が 27.6%、「鉄道・電車」が 14.9%、「徒歩」が 4.0%の順となっている。



3.2. 定住意識

(1) 現在の暮らしやすさ

「どちらかと言えば暮らしやすい」が44.8%で最も高く、次いで「暮らしやすい」が27.1%、「どちらとも言えない」が17.6%の順となっている。「暮らしやすい」及び「どちらかと言えば暮らしやすい」が、全体の7割以上を占めている。

年齢別では、全年代において約7割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」との回答者割合が最も高かった年代は「10歳代」(86%)で、次いで「40歳代」(76%)、「30歳代」(74%)、「20歳代」(72%)の順となっている。

居住地区別では、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」との回答者割合が最も高かった地区は「城ノ内地区」(86%)で、次いで「八原地区」(84%)、「龍ヶ崎西地区」(82%)の順となっている。「長戸地区」以外のすべての地区において5割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。

一方、「暮らしにくい」「どちらかと言えば暮らしにくい」との回答者割合は、「北文間地区」(34%)で最も高く、次いで大宮地区(28%)の順となった。

出身地別では、龍ヶ崎市出身者のうち74%、龍ヶ崎市外出身者のうち71%が、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答しており、大きな差は見られなかった。

在住年数別(※1)では、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」との回答者割合が最も高かったのは「10年未満」(80%)で、次いで「5年未満」(77%)、「20年未満」(74%)の順となっている。在住年数に関わらず6割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。

一方、全ての年数において「どちらかと言えば暮らしにくい」との回答者割合は10%未満、「暮らしにくい」との回答は約3%未満と低くなっている。

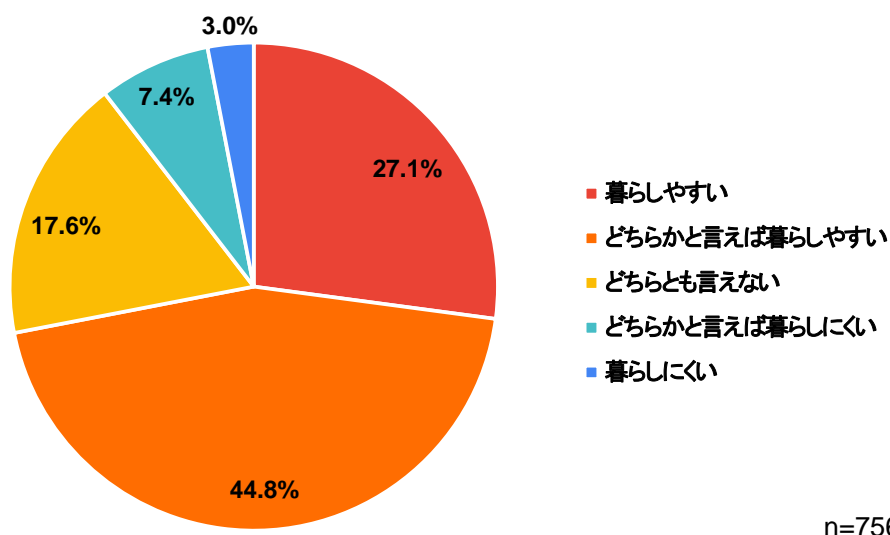
過去の居住地別では、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」との回答者割合は、「隣接する市町」(77%)で最も高く、次いで「その他の茨城県内の市町村」(76%)、「龍ヶ崎市内の他の場所」(75%)、「生まれてからずっと今の場所」(74%)の順となっており、居住地に関わらず6割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。

※1：回答者数の少ない「わからない・忘れた」(4票)を除く。

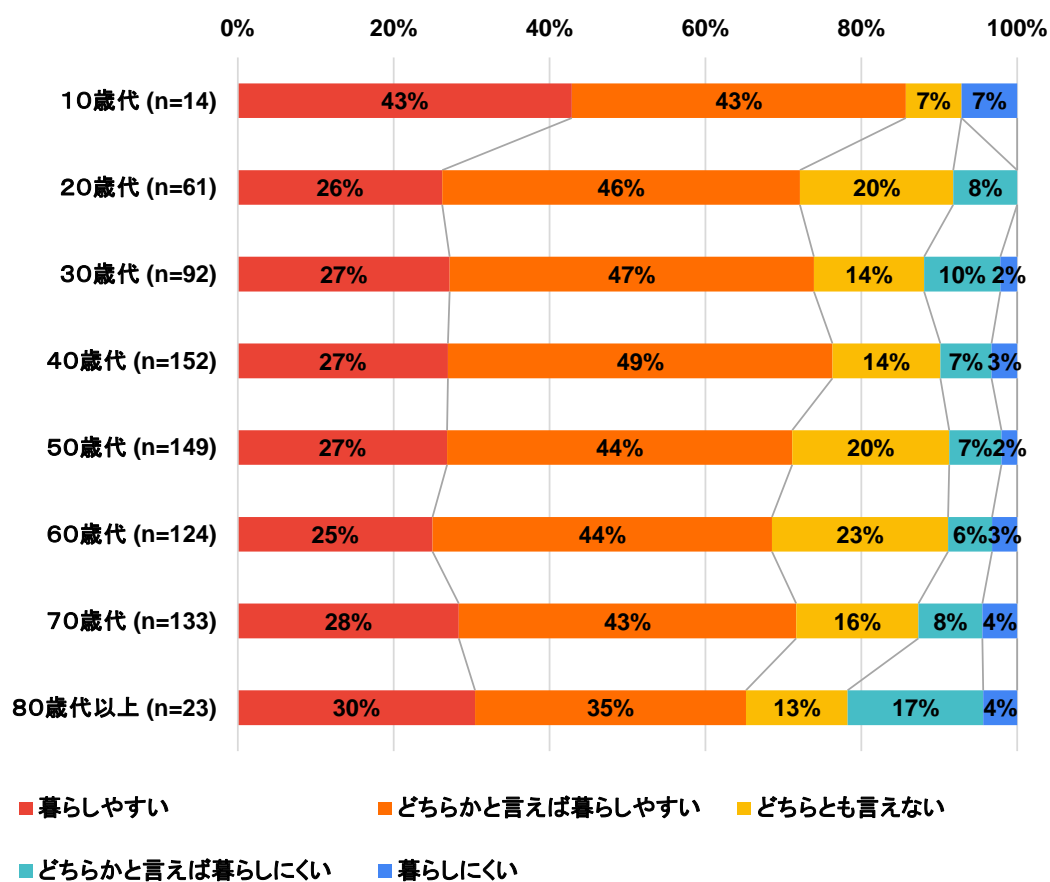
設問及び選択肢

2-4 現在のお住まいの環境を暮らしやすいと感じていますか。

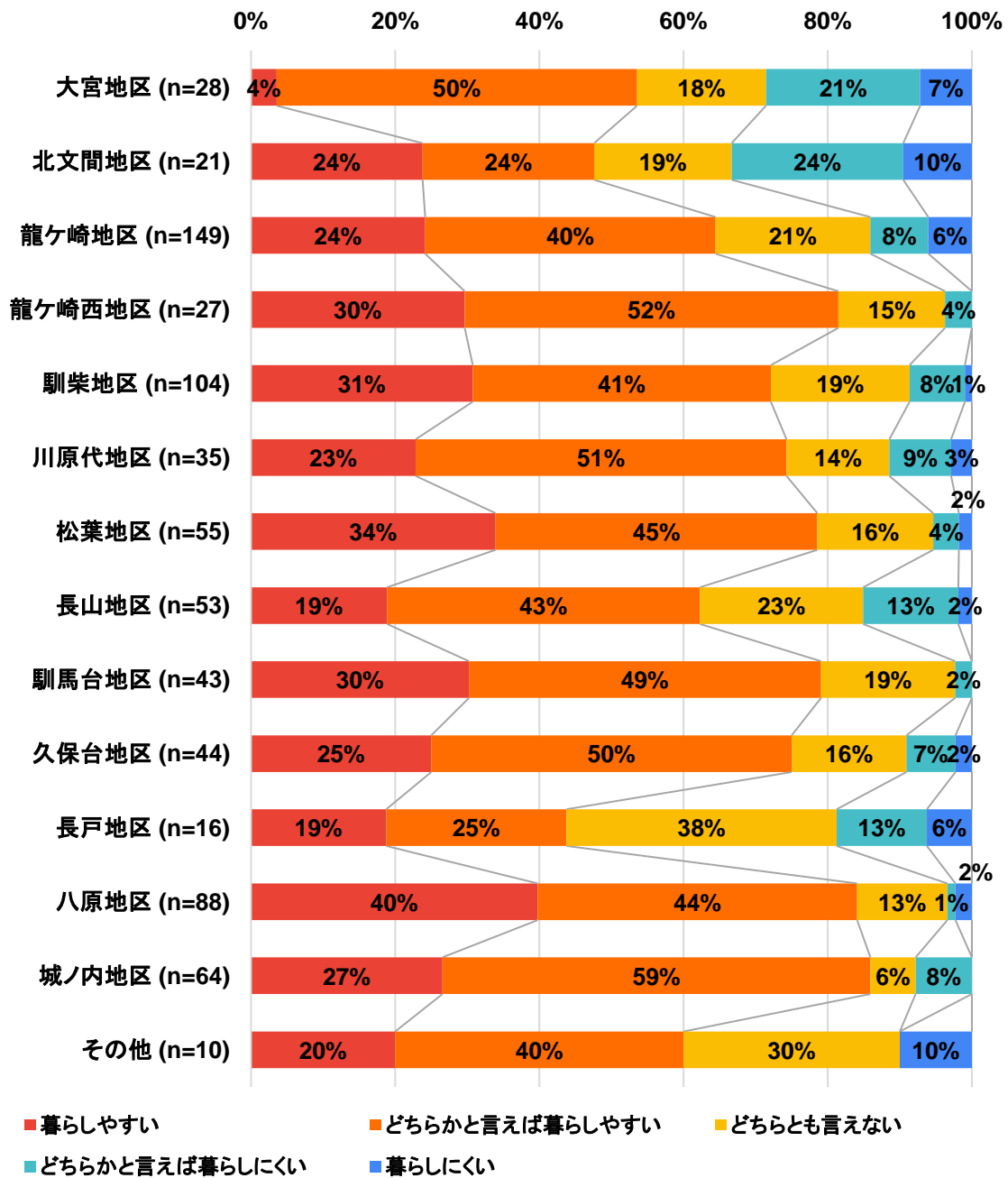
集計結果



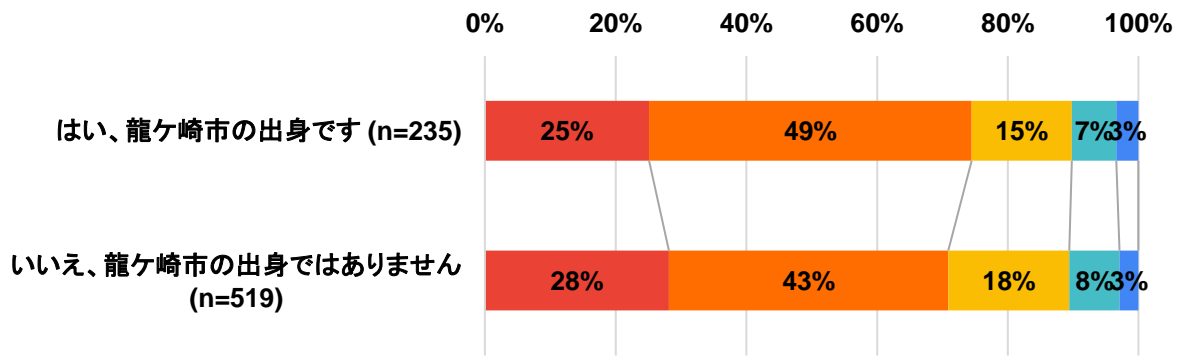
■現在の暮らしやすさ（年齢別）



■現在の暮らしやすさ（居住地区別）

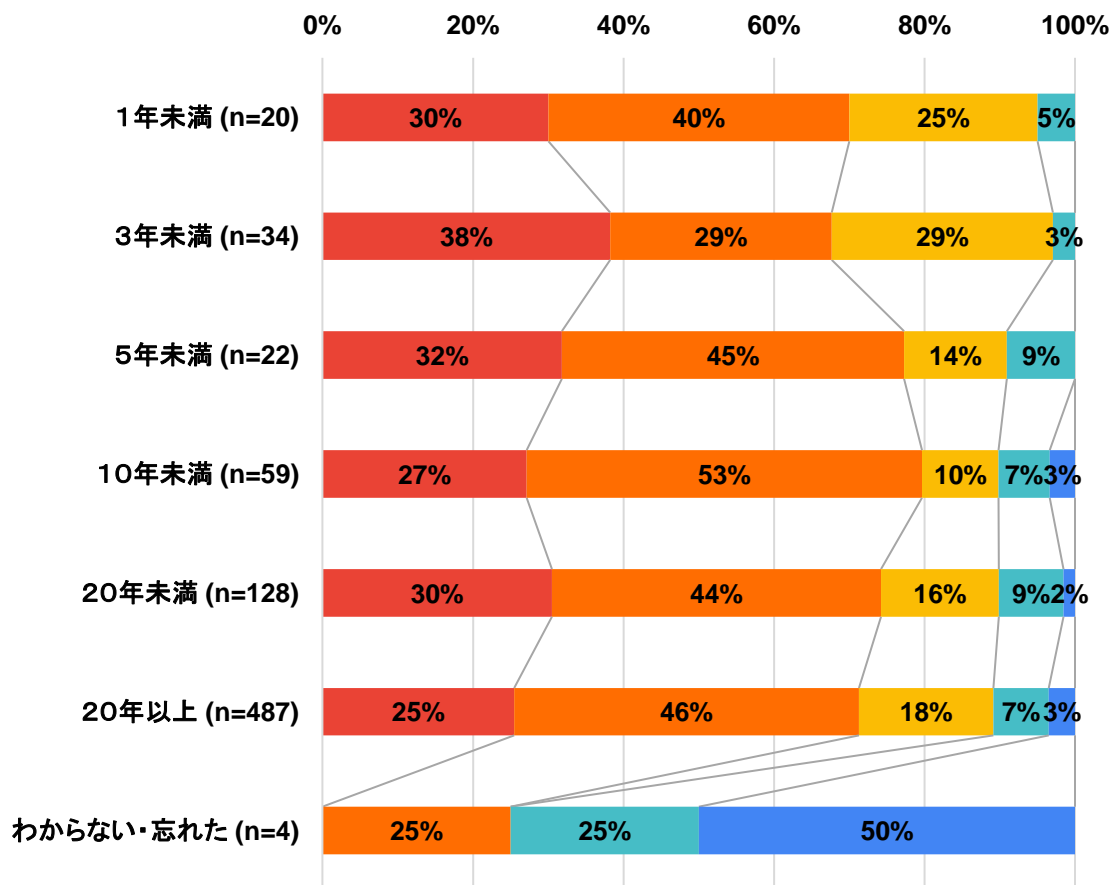


■現在の暮らしやすさ（出身地別）



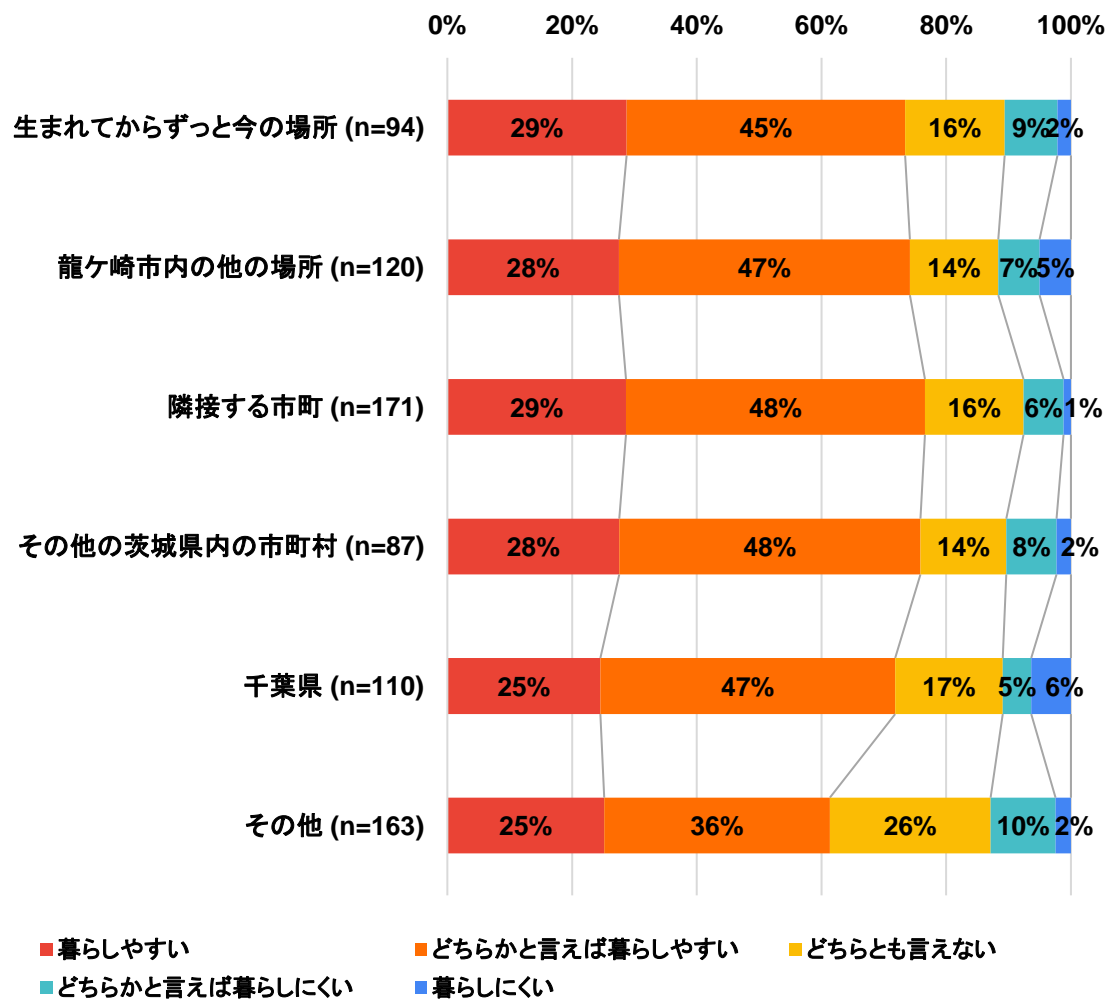
- 暮らしやすい
- どちらかと言えば暮らしやすい
- どちらとも言えない
- どちらかと言えば暮らしにくい
- 暮らしにくい

■現在の暮らしやすさ（龍ヶ崎市在住年数別）



- 暮らしやすい
- どちらかと言えば暮らしやすい
- どちらとも言えない
- どちらかと言えば暮らしにくい
- 暮らしにくい

■現在の暮らしやすさ（過去の居住地別）



(2) 居住継続意向

「住み続けたい」が 59.9%で最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 25.3%、「市外に移りたい」が 10.1%の順となっている。

年齢別では、20 歳代を除く全年代において、5 割以上が「住み続けたい」と回答している。「住み続けたい」と回答者割合が最も高かった年代は「80 歳代以上」(74%)で、次いで「70 歳代」(67%)、「60 歳代」(57%)の順となっており、全体として年齢が高いほど「住み続けたい」の割合が高い。「20 歳代」では「住み続けたい」の割合は 44%で、他の年代と比べ低くなっている。また、「20 歳代」では「市外に移りたい」との回答割合が他の年代と比較して高く (23%) となっている。

居住地区別では、「住み続けたい」との回答者割合が、「八原地区」(76%)で最も高く、次いで「城ノ内地区」(70%)、「川原代地区」(66%)、「松葉地区」(64%)の順となっている。多くの地区において、約 5 割以上が「住み続けたい」と回答しているが、「長戸地区」では「住み続けたい」(38%)の回答者割合を「どちらとも言えない」(50%)の回答者割合が上回っている。

一方、「市内の他の場所に移りたい」の回答者割合(※1)が最も高かったのは「大宮地区」(14%)、「市外に移りたい」の回答者割合が最も高かったのは、「長山地区」(21%)となっている。

出身地別では、龍ヶ崎市出身者のうち 64%、龍ヶ崎市外出身者のうち 58%が、「住み続けたい」と回答しており、出身地に関わらず約 6 割が「住み続けたい」と回答している。

在住年数別(※2)では、「住み続けたい」との回答者割合は、「20 年以上」(62%)で最も高く、次いで「5 年未満」(64%)、「10 年未満」(58%)、「20 年未満」(58%)の順となっている。在住年数の長さに関わらず 5 割以上が「住み続けたい」と回答している。

一方、全ての年数において、「市内の他の場所に移りたい」との回答者割合は 10%未満、「市外に移りたい」との回答は約 15%未満となっている。

過去の居住地区別では、「住み続けたい」との回答者割合は「生まれてからずっと今の場所」(67%)が最も高く、次いで「龍ヶ崎市内の他の場所」(66%)、「隣接する市町」(61%)の順となっており、過去の居住地に関わらず約 6 割が「住み続けたい」と回答している。

一方、全ての(過去の居住)地区において「市内の他の場所に移りたい」との回答者割合は約 5%程度、「市外に移りたい」との回答者割合は約 10%程度となっている。

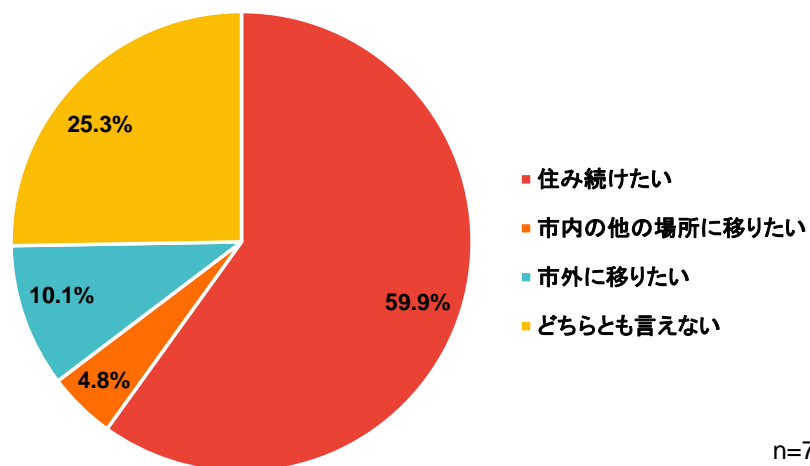
※1:「その他」(10 票)を除く。

※2: 回答者数の少ない「わからない・忘れた」(4 票)を除く。

設問及び選択肢

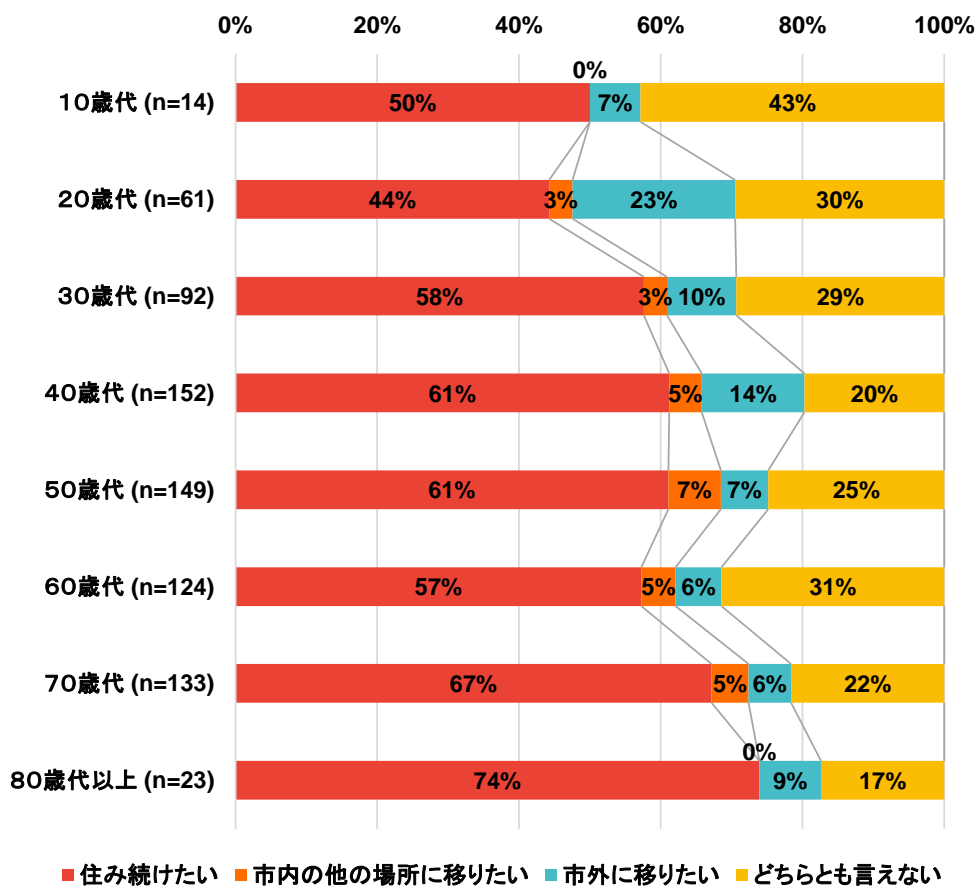
2-5 現在の場所に住み続けたいと思いますか。

集計結果

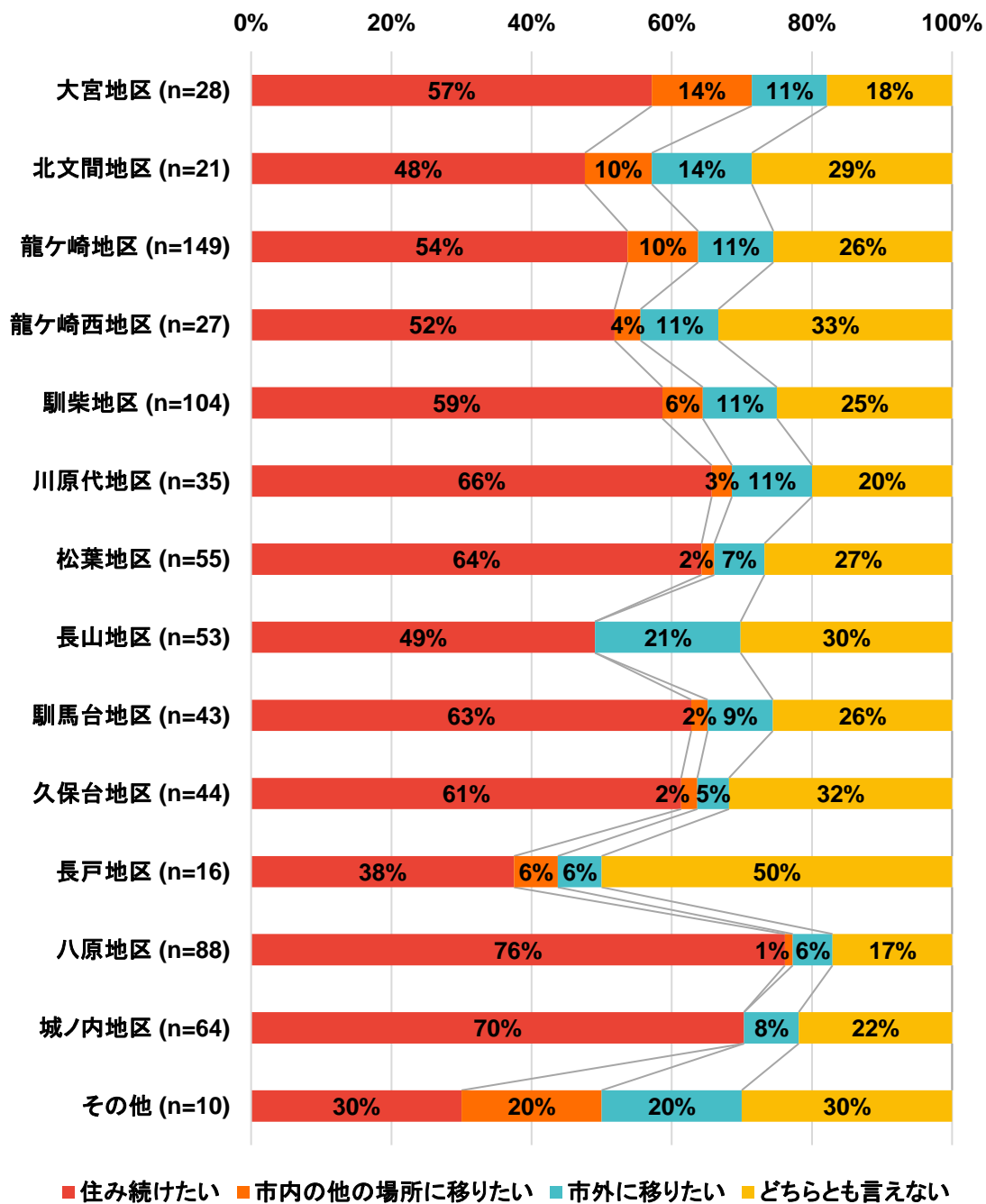


n=756

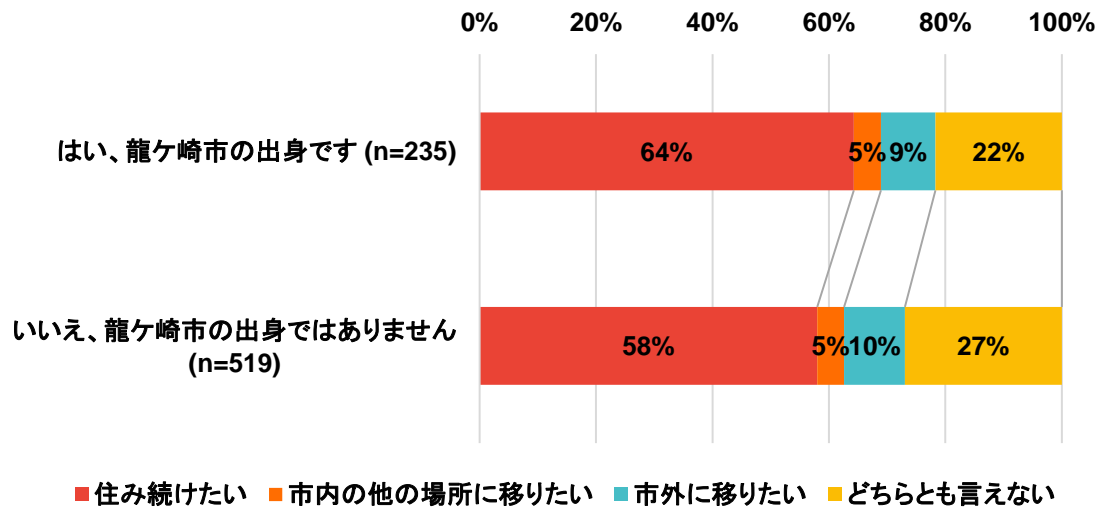
■ 居住継続意向（年齢別）



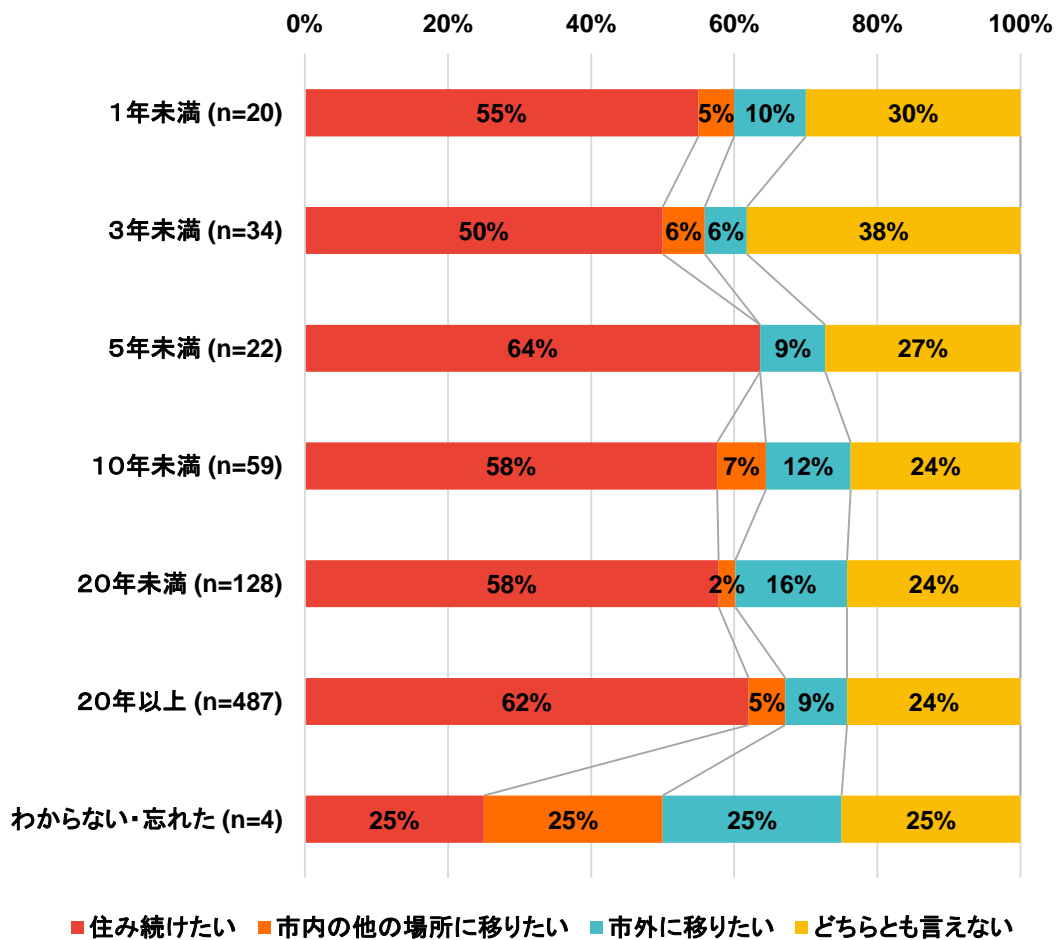
■ 居住継続意向（居住地区別）



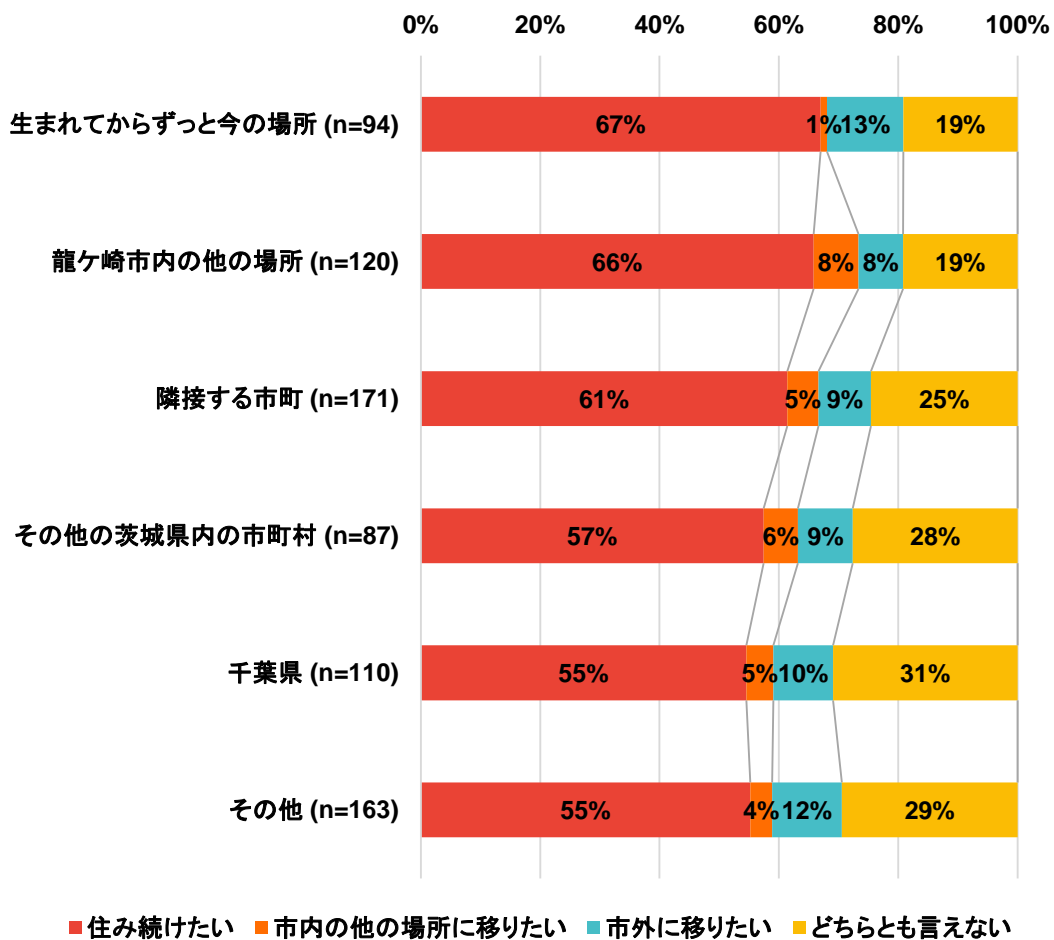
■ 居住継続意向（出身地別）



■ 居住継続意向（龍ヶ崎在住年数別）



■ 居住継続意向（過去の居住地区別）



3.3. 生活環境

(1) 生活環境の満足度

「満足」(5点)、「やや満足」(4点)、「普通」(3点)、「やや不満」(2点)、「不満」(1点)とした場合の平均値を算出した。

全般的に満足度の平均値は「普通」(3点)前後の評価となっている。

平均値が最も高いのは、「生鮮食料品など最寄品の買い物のしやすさ」(3.49)で、次いで「自然の豊かさや美しさ」(3.48)、「大規模公園の充実度」(3.29)の順となっている。

一方、平均値が最も低いのは、「空き家対策や未利用地対策」(2.52)で、次いで「働く場所の多さ」(2.53)、「鉄道やバスなどの公共交通の利便性」(2.57)の順となっている。

設問及び選択肢

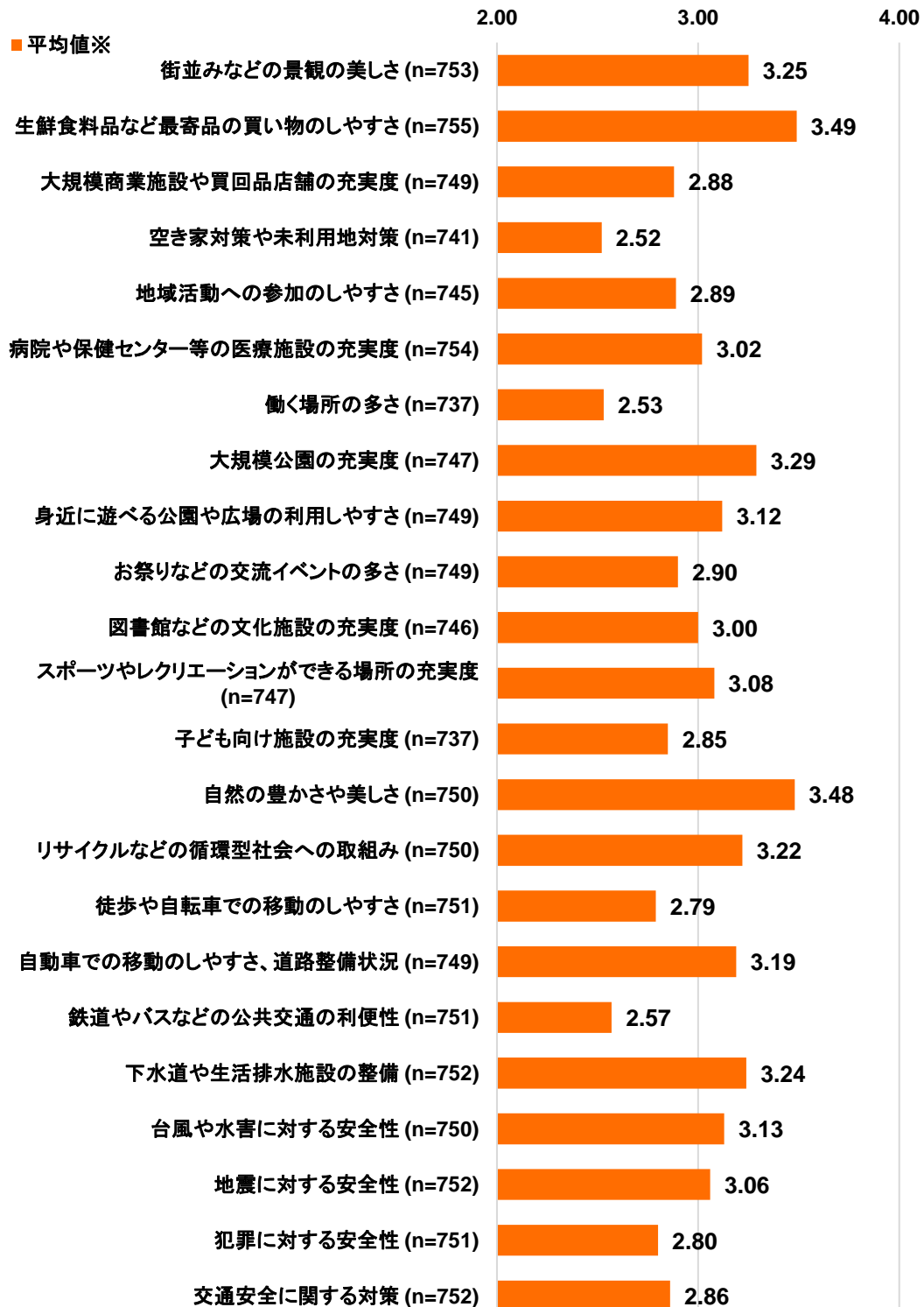
3-1 お住まいの地域の生活環境に関する満足度をお答えください。*

※1 最寄品……習慣的に購入するもの。食料品や日用雑貨品などの購入頻度が高く、比較的安価なもの。

※2 買回品……比較検討して探し回るような製品。購入頻度が低く、比較的高価なもの。

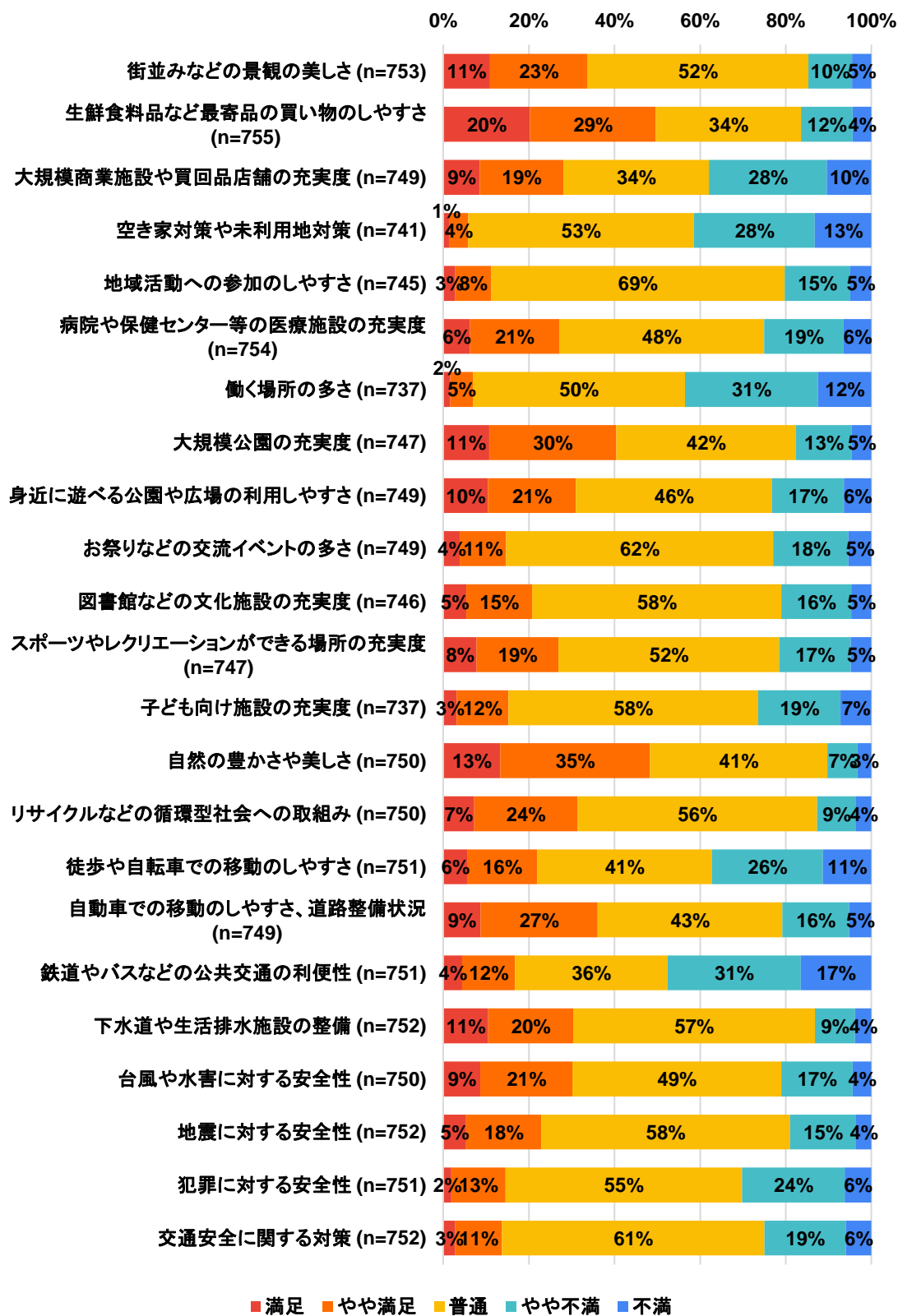
集計結果

■生活環境の満足度（平均値）



※平均値：「満足」（5点）、「やや満足」（4点）、「普通」（3点）、「やや不満」（2点）、「不満」（1点）とした場合の平均値

■参考



3.4. 魅力や課題

(1) 龍ヶ崎市のイメージ

「東京都への通勤圏である、都心のベッドタウン」(353票)が最も多く、次いで「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」(344票)、「農業の盛んなまち」(153票)の順となっている。

年齢別で見ても、全年代で「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」及び「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」の回答が他の選択肢に比べ多くなっている。概ね全ての年代で「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」が「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」を上回る結果となっているが、70歳代では「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」(78票)が「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」(53票)を上回っている。

「自然環境と都会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち」は、10歳代～30歳代においては「農業の盛んなまち」よりも多くなっている。一方、40歳代以上の年代では「農業の盛んなまち」が「自然環境と都会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち」を上回っている傾向がある。特に、60歳代及び70歳代では、その差が大きくなっている。

居住地区別では、「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」は、「龍ヶ崎地区」、「八原地区」、「城ノ内地区」などの6地区で回答者数が上位1位となっており、その他すべての地区では回答者数上位2位となっている。

「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」は、「馴染地区」、「長山地区」、「松葉地区」等の6地区で回答者数が上位1位となっており、「北文間地区」等の5地区で回答者数上位2位となっている。

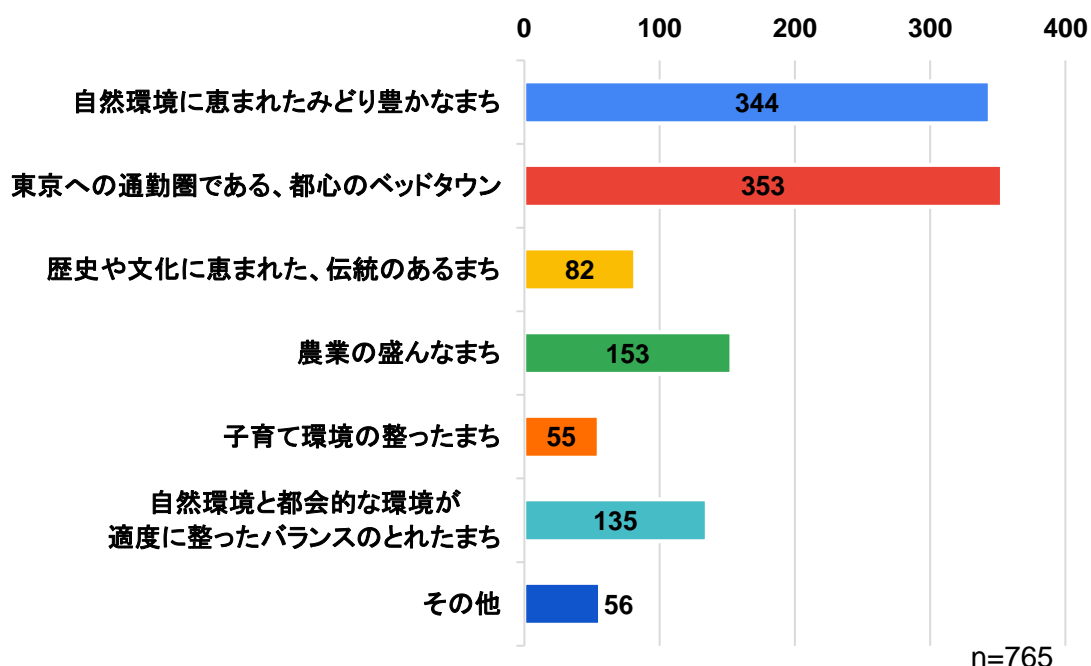
「農業の盛んなまち」は、「大宮地区」で回答者数が上位1位となっており、「龍ヶ崎西地区」、「長戸地区」で回答者数上位2位となっている。

設問及び選択肢

4-1 龍ヶ崎市にはどのようなイメージを持っていますか。

※ 2つ以内で選択してください。

集計結果



その他の回答（一部意見抜粋）

都内にでられる範囲なことはいいけど、交通機関が不便で本当に苦労した

旧市内の活性化（空家対策）

時間のながれがゆっくりで、おだやかなまち

暮らしやすい

何も無い街

住みにくい町

地元の人達の考え方が古く、変化に抵抗感が強い

自動車の運転マナーが本当に悪い人が多すぎる

特筆すべき点がない町

常磐線沿線の古い町

自営業の街だと思います

どれも当てはまりません。

年寄りが多い

駅周辺の発展開発が遅れている。

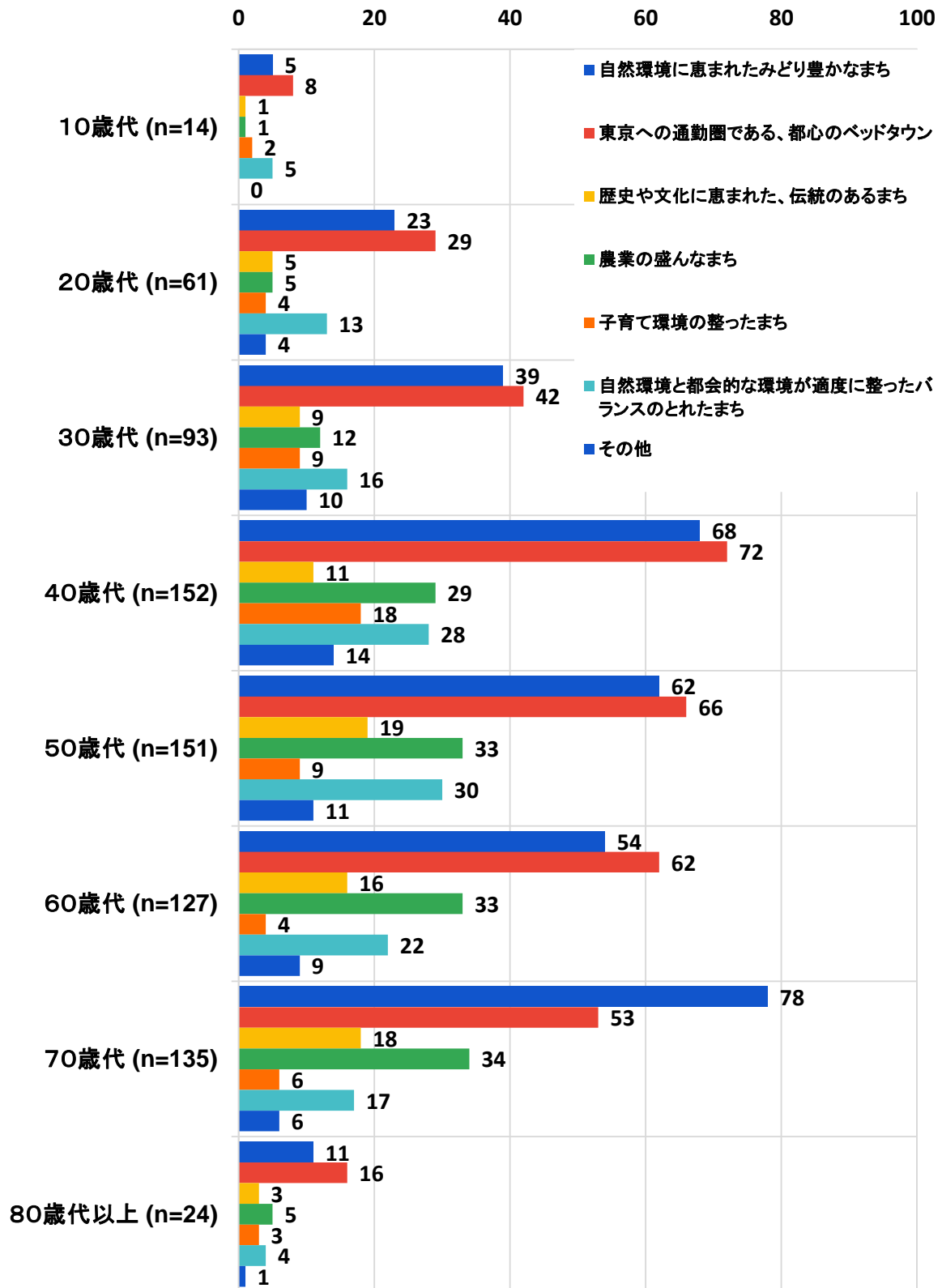
静かで落ち着いた居住環境のあるまち

なににもないので何もない

ニュータウン住民と旧住民との意識の差、龍ヶ崎市民としての一体感のない町。

特になし

■イメージ（年齢別）



■イメージ（居住地区別）

	自然環境に恵まれたみどり豊かなまち	東京への通勤圏である、都心のベッドタウン	歴史や文化に恵まれた、伝統あるまち	農業の盛んなまち	子育ての環境の整ったまち	自然環境と都会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち	その他	合計
大宮地区 (n=29)	12	11	1	13	2	5	1	45
北文間地区 (n=21)	14	8	4	6	0	1	0	33
龍ヶ崎地区 (n=151)	68	54	18	40	7	19	16	222
龍ヶ崎西地区 (n=27)	12	11	1	11	4	2	3	44
馴染地区 (n=106)	49	65	11	16	3	12	8	164
川原代地区 (n=35)	14	20	5	7	0	10	2	58
松葉地区 (n=56)	29	29	4	8	6	13	5	94
長山地区 (n=54)	19	33	2	9	5	9	6	83
馴染馬台地区 (n=43)	17	23	3	8	2	13	2	68
久保台地区 (n=44)	16	23	5	3	6	12	3	68
長戸地区 (n=16)	11	3	1	7	0	1	1	24
八原地区 (n=89)	40	36	16	13	10	18	5	138
城ノ内地区 (n=64)	30	23	8	8	8	15	2	94
その他 (n=10)	4	6	2	2	0	2	0	16

※各地域の上位第1位赤色：■、第2位橙色：■、第3位黄色：■とした。

(2) 龍ヶ崎市の魅力

「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」(299票)が最も多く、次いで「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」(271票)、「陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツ・レクリエーション施設が整っている」(205票)の順となっている。

年齢別では、40歳代以上のすべての年代で「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」の回答が上位1位となっている。

「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」は、「20歳代」「40歳代」「80歳代以上」で、回答者数が上位1位となっている。

「陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツ・レクリエーション施設が整っている」は「10歳代」「40歳代」で回答者数が上位1位となっている。

「北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園が整備されている」は、「30歳代」で回答者数上位1位となっている。

居住地区別では、「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」は、「大宮地区」、「北文間地区」、「龍ヶ崎地区」などの8地区において、回答者数が上位1位となっている。

「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」は、「馴染地区」、「川原代地区」「長山地区」などで回答者数が上位1位となっている。

「北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園が整備されている」は「松葉地区」「久保台地区」で回答者数が上位1位となっている

「陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツレクリエーション施設が整っている」は「城ノ内地区」で回答者数が上位1位となっている。

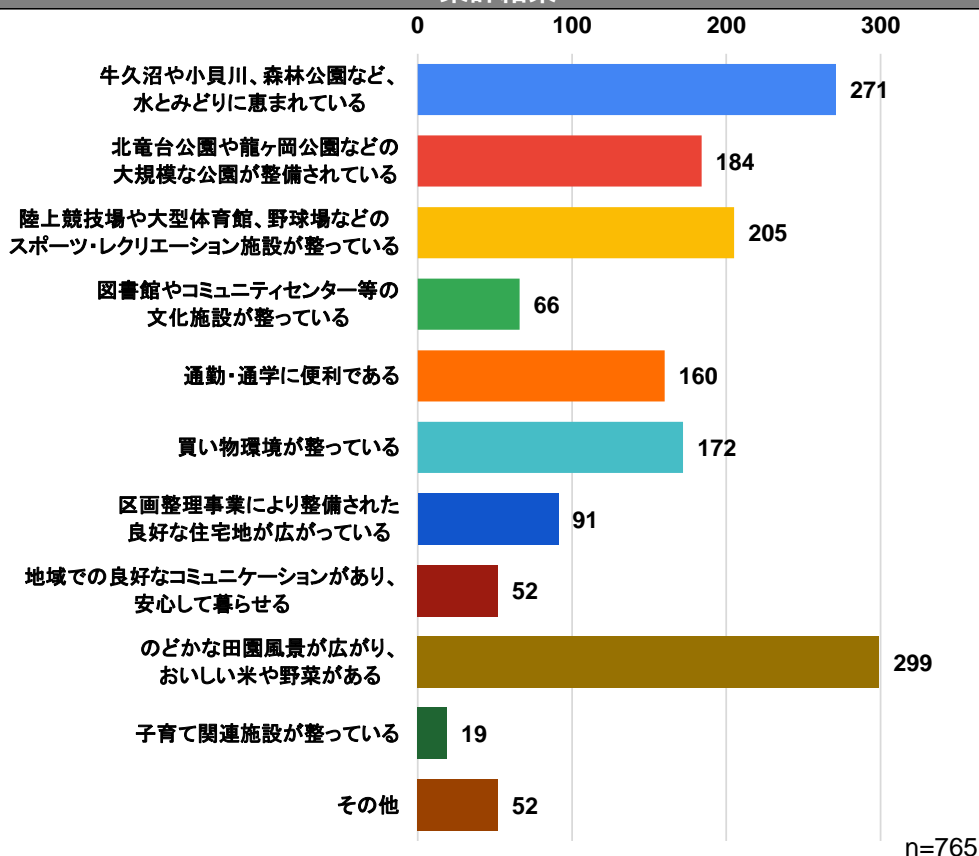
「買い物環境が整っている」は、「八原地区」で回答者数が上位1位となっている。

設問及び選択肢

4-2 あなたにとって、龍ヶ崎市の魅力は何だと思えますか。

※ 3つ以内で選択してください。

集計結果



その他の回答（一部意見抜粋）

管理遊休地のある稲敷市に近いこと
まいりゅうやニーテッチやタッポくんや、タッピーなどたくさんかわいい龍のキャラクターがいること。
自分なりの生活ができる
静かさ
空気が良い
四季がわかりやすい
おいしいラーメン屋が増えている。
都心より安く広い家に住め、都内への通勤も可能な場所。
病院への受診がしやすい。
都会過ぎず田舎すぎない
静かな町
自動車暮らしやすい
ほどよい人口密度
場所によるが、ニュータウンは比較的災害に強いのが魅力だと思います
特になし。魅力を感じない
分からない

■魅力（年齢別）

	牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている	北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園が整備されている	陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツレクリエーション施設が整っている	図書館やコミュニティセンターなどの文化施設が整っている	通勤・通学に便利である	買い物環境が整っている	区画整理事業により整備された良好な住宅地が広がっている	安心して暮らせる地域での良好なコミュニケーションがあり、安心して暮らせる	のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある	子育て関連施設が整っている	その他（自由記述）	合計
10 歳代 (n=14)	4	3	7	2	5	4	2	0	2	1	0	30
20 歳代 (n=61)	18	7	14	3	16	14	3	1	15	2	8	101
30 歳代 (n=93)	27	30	21	11	26	28	7	7	26	3	7	193
40 歳代 (n=152)	59	36	59	9	40	38	12	13	59	8	7	340
50 歳代 (n=151)	49	38	39	13	31	31	12	6	61	1	10	291
60 歳代 (n=127)	46	32	27	8	18	28	26	6	56	1	8	256
70 歳代 (n=135)	54	35	31	17	16	26	26	13	64	3	9	294
80 歳代以上 (n=24)	13	3	6	2	6	3	2	6	13	0	0	54

※各地域の上位 1 位を赤色：■、上位 2 位を橙色：■、上位 3 位を黄色：■とした。

■魅力（居住地区別）

	恵まれている	牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに整備されている	北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園	陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツレクリエーション施設が整っている	設が整っている	図書館やコミュニティセンターなどの文化施設が整っている	通勤・通学に便利である	買い物環境が整っている	区画整理事業により整備された良好な住宅地が広がっている	地域での良好なコミュニケーションがあり、安心して暮らせる	のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある	子育て関連施設が整っている	その他（自由記述）	合計
大宮地区 (n=29)	5	5	7	3	1	5	2	7	17	0	3	55		
北文間地区 (n=21)	13	2	4	2	1	4	2	1	14	0	0	43		
龍ヶ崎地区 (n=151)	53	30	38	11	23	40	4	9	70	3	11	292		
龍ヶ崎西地区 (n=27)	11	1	5	1	3	3	0	5	15	0	2	46		
馴柴地区 (n=106)	53	15	19	8	42	15	6	8	39	2	10	217		
川原代地区 (n=35)	17	6	6	3	12	9	3	2	14	1	2	75		
松葉地区 (n=56)	18	19	14	4	16	11	16	3	19	2	3	125		
長山地区 (n=54)	19	15	8	8	13	1	13	5	15	1	6	104		
馴馬台地区 (n=43)	16	9	11	7	6	9	10	3	19	1	2	93		
久保台地区 (n=44)	11	20	12	1	13	13	6	3	15	5	3	102		
長戸地区 (n=16)	4	3	5	4	2	2	1	3	12	0	0	36		
八原地区 (n=89)	24	22	33	7	14	38	14	2	25	3	6	188		
城ノ内地区 (n=64)	16	31	37	5	7	12	11	1	15	1	3	139		
その他 (n=10)	4	2	2	0	1	3	1	0	4	0	0	17		

※各地域の上位上位1位を赤色：■、上位2位を橙色：■、上位3位を黄色：■とした。

(3) まちづくり、土地利用の課題

1) 土地利用の課題

「駅周辺に賑わいがない」が 488 票で最も多く、次いで「管理されていない空き家、空き店舗が増えている」(320 票)、「店舗やサービス施設が不足している」(254 票)の順となっている。

年齢別では、全年代で「駅周辺に賑わいがない」の回答者数が上位 1 位となっている。

30 歳代以上では、「管理されていない空き家、空き店舗が増えている」が回答者数上位 2 位となっており、20 歳代以下では上位 3 位となっている。

「店舗やサービス施設が不足している」は 20 歳代以下では回答者数上位 2 位となっており、30 歳代以上では上位 3 位となっている。

居住地区別では、「大宮地区」、「長戸地区」以外の地区で「駅周辺に賑わいがない」の回答者数が上位 1 位となっている。「大宮地区」では上位 2 位となっている。

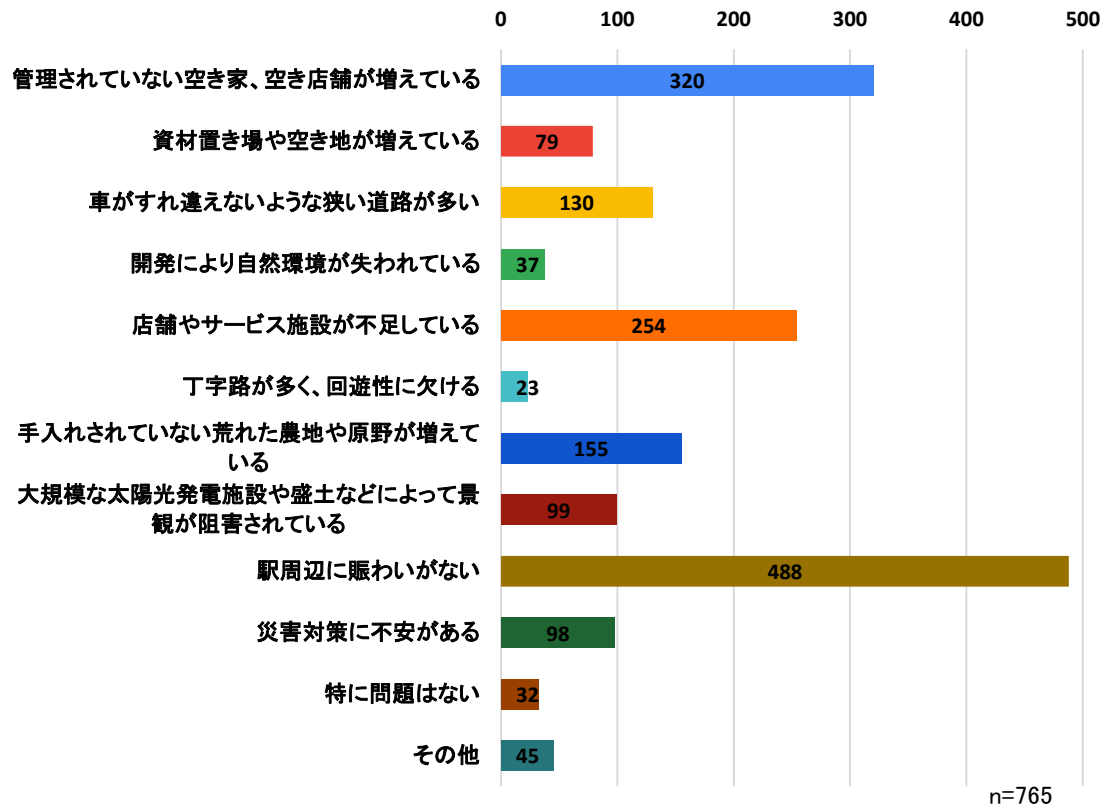
「管理されていない空き家、空き店舗が増えている」は、「大宮地区」で回答者数上位 1 位となっており、「北文間地区」など 10 地区で回答者数上位 2 位となっている。

「店舗やサービス施設が不足している」は、「北文間地区」など 4 地区で回答者数上位 2 位となっている。

「長戸地区」では「大規模な太陽光発電施設や盛土などによって景観が阻害されている」が上位 1 位となっている。

設問及び選択肢
〔問13〕あなたにとって、龍ヶ崎市の土地利用にはどのような課題があると思いますか。 ※3つ以内で選択してください。

集計結果



その他の回答(一部回答抜粋)

JR 龍ヶ崎市駅周辺の土地活用が極めて不振であること
廃れた商店街が行場をなくしている
空き家等が増え、犯罪も多くなってきた。(近年)
公園整備に問題がある
大規模店舗(コストコ)などで人の集まる街づくりを期待
道路わきの草をもっと整備した方が子供たちの安全につながると思う
駅前に駐車場が多い。付加価値の高い土地利用が望まれる
生活の利便性に地域に差があると思います。
水害、水没あちこちにある。
子育て世代、子育て施設の充実、市の政策が子供より年寄りばかり優先している
駅、市役所、図書館などすべてがただの建物、箱でデザイン性がない。洗練されてない。
工業団地の道路の劣化が放置されている
駅周辺だけでなく徐々に活気が失われている
街路樹や植込みの雑草が伸び、蚊などの害虫で子どもたちがかわいそうな思いをしている。また景観を損なうとともに交通の妨げになっている。
自転車専用道路がない
外国人が土地をどんどん買っていると聞くので今後の治安が心配
わからない

■まちづくり、土地利用の課題（年齢別）

	管理されていない空家、空き店舗が増えている	資材置き場や空き地が増えている	車がすれ違えないような狭い道路が多い	開発により自然環境が失われている	店舗やサービス施設が不足している	丁字路が多く、回遊性に欠ける	手入れされていない荒れた農地や原野が増えている	大規模な太陽光発電施設や盛土などによって景観が阻害されている	駅周辺ににぎわいが無い	災害対策に不安がある	特に問題はない	その他（自由記述）	合計
10歳代 (n=14)	3	0	1	1	5	0	1	2	10	1	1	2	27
20歳代 (n=61)	18	7	14	3	19	1	9	4	38	4	4	1	122
30歳代 (n=93)	38	8	23	6	33	2	19	10	55	11	3	7	215
40歳代 (n=152)	61	15	33	6	52	11	26	16	96	24	6	9	355
50歳代 (n=151)	66	19	25	7	52	2	33	16	93	15	6	10	344
60歳代 (n=127)	57	16	19	6	37	3	23	23	86	17	3	11	301
70歳代 (n=135)	64	11	10	4	43	3	35	26	91	20	8	5	320
80歳代以上 (n=24)	10	2	4	4	9	1	7	2	15	4	1	0	59

※各地域の上位上位1位を赤色：■、上位2位を橙色：■、上位3位を黄色：■とした。

■まちづくり、土地利用の課題（居住地区別）

	管理されていない空家、空き店舗が増えている	資材置き場や空き地が増えている	車がすれ違えないような狭い道路が多い	開発により自然環境が失われている	店舗やサービス施設が不足している	丁字路が多く、回遊性に欠ける	手入れされていない荒れた農地や原野が増えている	大規模な太陽光発電施設や盛土などによって景観が阻害されている	駅周辺ににぎわいが無い	災害対策に不安がある	特に問題はない	その他（自由記述）	合計
大宮地区 (n=29)	18	4	8	0	9	1	12	6	14	3	1	1	77
北文間地区 (n=21)	10	4	3	0	10	0	6	2	14	5	0	0	54
龍ヶ崎地区 (n=151)	74	16	40	7	54	7	28	7	84	19	4	9	349
龍ヶ崎西地区 (n=27)	12	1	2	1	10	1	2	3	22	4	1	0	59
駒柴地区 (n=106)	41	11	17	5	36	4	19	10	79	25	3	7	257
川原代地区 (n=35)	14	4	9	1	7	1	10	6	23	3	1	2	81
松葉地区 (n=55)	27	6	4	4	14	1	12	7	36	6	3	3	123
長山地区 (n=54)	26	6	5	6	22	0	9	9	37	3	1	5	129
駒馬台地区 (n=43)	18	2	5	1	18	4	3	3	31	3	3	3	94
久保台地区 (n=44)	14	2	4	4	16	0	5	8	31	3	3	4	94
長戸地区 (n=16)	7	3	2	1	6	1	8	9	6	1	1	0	45
八原地区 (n=89)	29	9	15	4	24	3	22	19	53	12	5	5	200
城ノ内地区 (n=64)	22	7	10	2	18	0	18	8	40	2	5	3	135
その他 (n=10)	2	1	3	1	3	0	0	1	4	2	1	1	19

※各地域の上位上位1位を赤色：■、上位2位を橙色：■、上位3位を黄色：■とした。

3.5. 今後のまちづくり

(1) 今後のまちづくりについての重要度

「重要」(5点)、「やや重要」(4点)、「普通」(3点)、「あまり重要でない」(2点)、「重要でない」(1点)とした場合の平均値を算出した。

全般的に重要度の平均値は「普通」(3点)よりやや高い評価となっている。

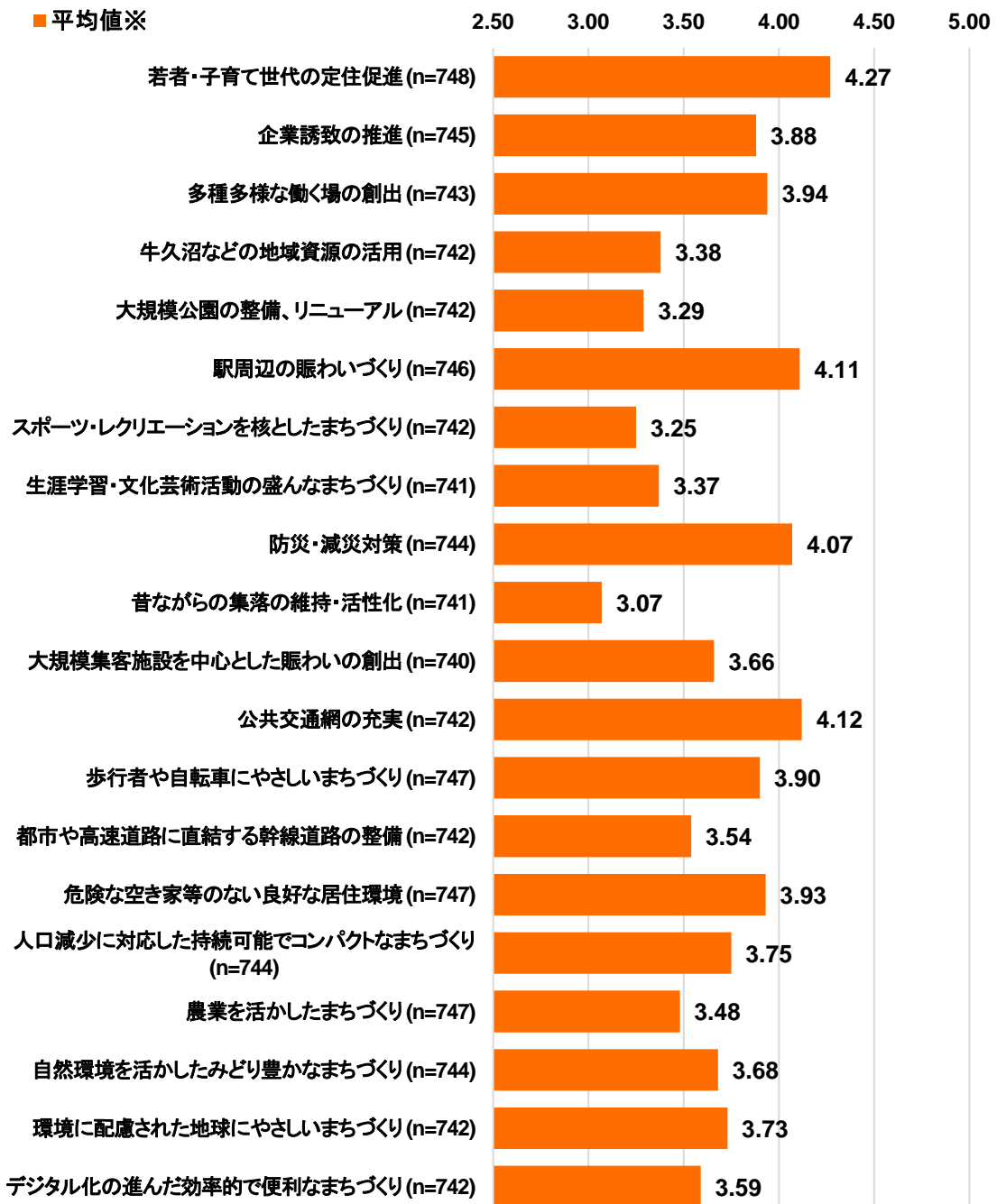
「若者・子育て世代の定住促進」(4.27)で最も平均値が高く、次いで「公共交通網の充実」(4.12)、「駅周辺の賑わいづくり」(4.11)の順となっている。

一方、「昔ながらの集落の維持・活性化」(3.07)が最も平均値が低く、次いで「スポーツ・レクリエーションを核としたまちづくり」(3.25)、「大規模公園の整備、リニューアル」(3.29)の順となっている。

設問及び選択肢
5-1 龍ヶ崎市の今後のまちづくりについて、下記項目の重要度をお答えください。

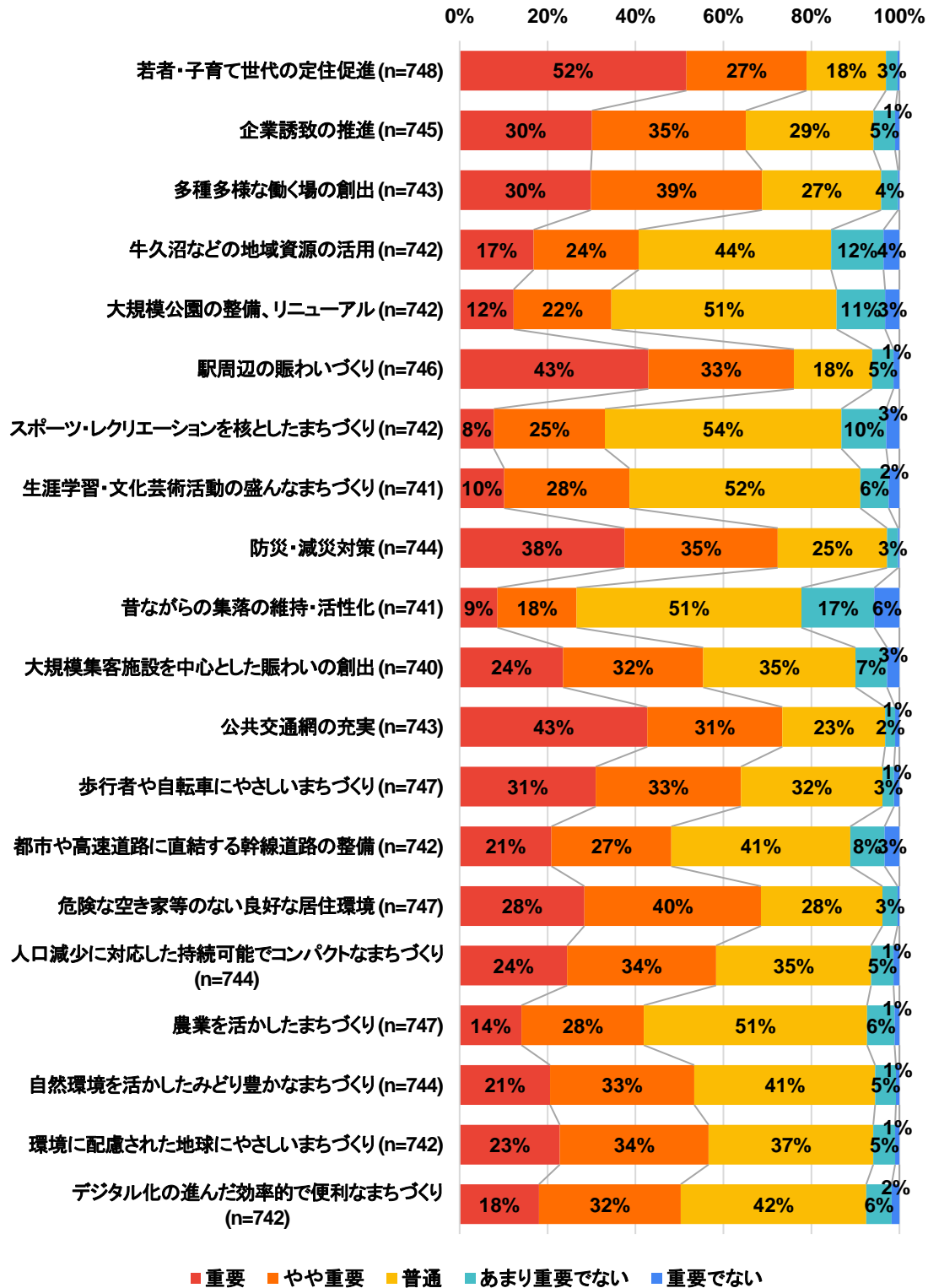
集計結果

■今後のまちづくりについての重要度（平均値）



※平均値：「非常に重要」（5点）、「やや重要」（4点）、「普通」（3点）、「あまり重要でない」（2点）、「重要でない」（1点）とした場合の平均値を算出

■ 参考



(2) 今後のまちづくりにおける特に重要な項目

「若者・子育て世代の定住促進」(349票)が最も多く、次いで「駅周辺の賑わいづくり」(271票)、「防災・減災対策」(217票)の順となっている。

年齢別では、20歳代以上のすべての年代で「若者・子育て世代の定住促進」の回答者数が上位1位となっている。「10歳代」の回答者数は上位2位となっている。

「駅周辺の賑わいづくり」では、「10歳代」の回答者数が上位1位で、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「70歳代」で回答者数が上位2位となっている。

「防災・減災対策」は、「60歳代」及び「80歳代以上」で回答者数上位2位となっている。

居住地区別では、「若者・子育て世代の定住促進」の回答者数について、「その他」を除くすべての地区において回答者数上位1位(8地区)もしくは2位(5地区)となっている。

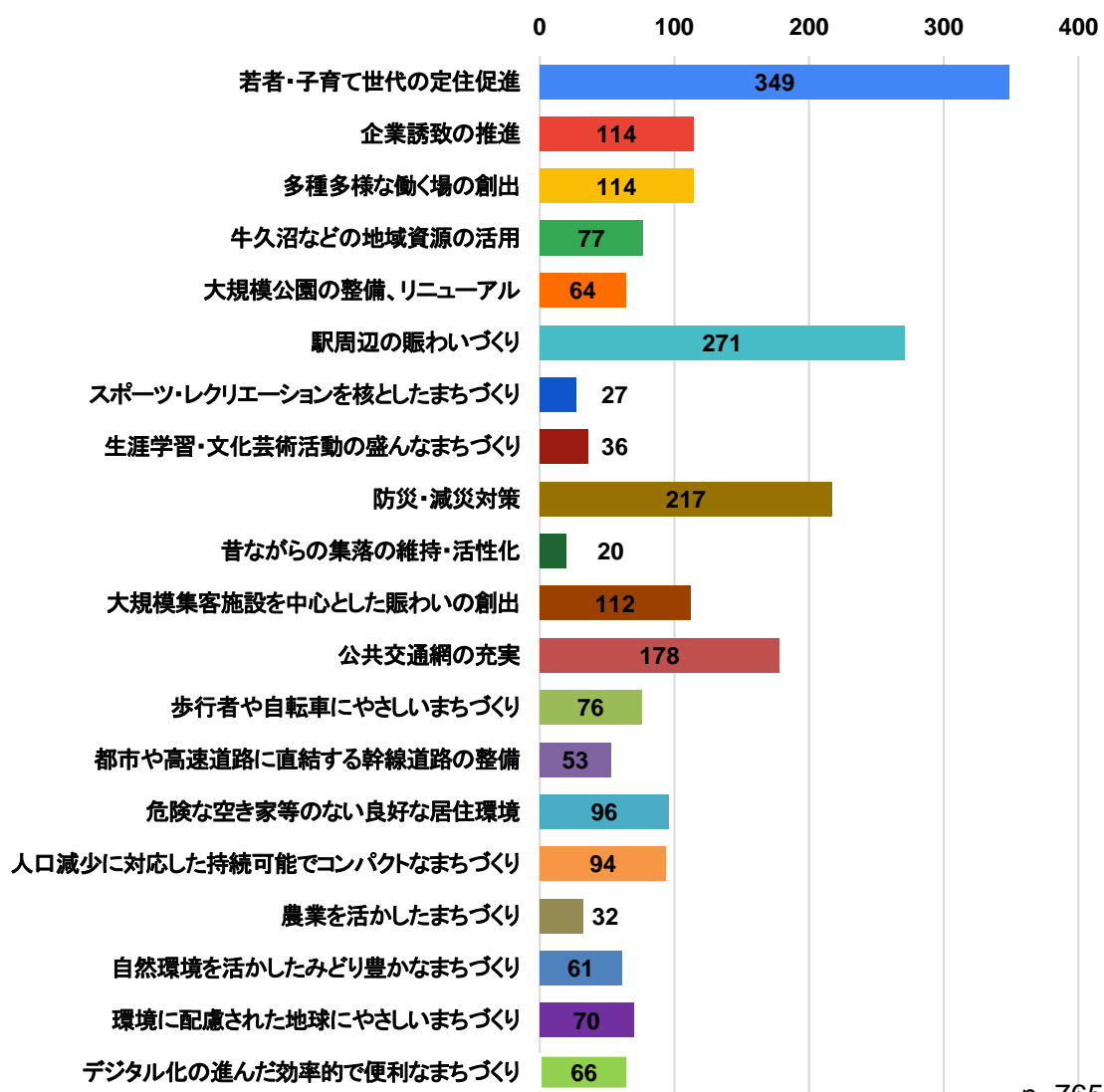
「駅周辺の賑わいづくり」は、「大宮地区」「長戸地区」を除くすべての地区で回答者数が上位1位から3位となっている。「馴染地区」など3地区で回答者数上位1位となっている。

「防災・減災対策」は、「北文間地区」で回答者数が上位1位となっている。

設問及び選択肢

5-2 5-1の項目のうち、特に重要だと思う項目を3つ以内で選んでください。

集計結果



n=765

■重要な項目（年齢別）

	10歳代 (n=14)	20歳代 (n=61)	30歳代 (n=93)	40歳代 (n=152)	50歳代 (n=151)	60歳代 (n=127)	70歳代 (n=134)	80歳代 以上 (n=24)
1	6	36	57	67	65	50	55	10
2	3	4	15	23	29	16	19	3
3	1	5	15	29	25	16	20	2
4	0	5	7	17	15	15	15	2
5	1	6	18	10	7	11	8	3
6	8	30	36	59	53	38	42	3
7	1	3	5	7	8	2	1	0
8	0	2	3	8	7	5	9	2
9	3	13	20	54	40	41	37	5
10	0	2	2	5	3	6	1	1
11	4	13	12	30	19	15	17	2
12	3	23	18	31	41	32	26	3
13	0	6	7	12	22	18	9	2
14	2	5	5	14	11	9	3	4
15	1	4	10	20	22	17	20	1
16	1	5	4	20	20	25	16	3
17	0	2	4	6	6	1	12	1
18	0	5	10	10	6	7	17	4
19	3	1	9	12	13	18	11	2
20	2	8	11	11	12	11	7	1

- 1 若者・子育て世代の定住促進
- 2 企業誘致の推進
- 3 多種多様な働く場の創出
- 4 牛久沼などの地域資源の活用
- 5 大規模公園の整備・リニューアル
- 6 駅周辺の賑わいづくり
- 7 スポーツ・レクリエーションを核としたまちづくり
- 8 生涯学習・文化芸術活動の盛んなまちづくり
- 9 防災・減災対策
- 10 昔ながらの集落の維持・活性化
- 11 大規模集客施設を中心とした賑わいの創出

- 12 公共交通網の充実
 - 13 歩行者や自転車にやさしいまちづくり
 - 14 都市や高速道路に直結する幹線道路の整備
 - 15 危険な空き家等のない良好な居住環境
 - 16 人口減少に対応した持続可能でコンパクトなまちづくり
 - 17 農業を活かしたまちづくり
 - 18 自然環境を活かしたみどり豊かなまちづくり
 - 19 環境に配慮された地球にやさしいまちづくり
 - 20 デジタル化の進んだ効率的で便利なまちづくり
- ※各項目の上位1位を赤色：■、上位2位を橙色：■、上位3位を黄色：■とした。

■重要な項目（居住地区別）

	大宮地区 (n=29)	北文間地区 (n=21)	龍ヶ崎地区 (n=151)	龍ヶ崎西地区 (n=27)	駒柴地区 (n=106)	川原代地区 (n=35)	松葉地区 (n=55)	長山地区 (n=54)	駒馬台地区 (n=43)	久保台地区 (n=44)	長戸地区 (n=16)	八原地区 (n=89)	城ノ内地区 (n=64)	その他 (n=10)
1	14	7	63	17	46	15	29	24	19	21	8	45	31	2
2	3	2	11	4	15	4	12	7	9	7	4	13	16	1
3	6	4	22	6	13	9	6	2	4	11	2	15	10	2
4	3	4	16	0	16	4	8	6	7	2	0	5	5	0
5	4	0	12	3	9	2	4	4	2	4	4	7	8	0
6	5	5	44	10	54	14	16	25	19	19	5	26	20	3
7	0	0	8	0	5	0	0	3	0	0	0	5	5	1
8	2	0	10	0	2	1	4	4	0	1	0	11	1	0
9	9	8	40	9	37	10	12	7	11	14	2	27	19	2
10	1	1	5	0	2	1	1	2	0	0	3	4	0	0
11	2	2	16	3	18	6	8	9	8	8	2	14	10	3
12	7	5	41	8	21	2	14	15	9	13	6	18	13	5
13	4	1	23	0	8	7	2	5	5	5	0	8	5	1
14	3	1	16	1	4	3	1	1	4	3	1	8	4	2
15	6	3	25	4	14	6	5	7	2	2	2	13	5	1
16	4	1	16	5	13	8	12	9	3	6	1	9	6	0
17	1	2	5	2	5	1	1	3	1	0	1	7	2	0
18	0	3	9	3	3	2	6	7	8	2	5	3	8	1
19	1	3	10	3	6	1	8	7	6	4	1	13	5	0
20	3	2	12	3	6	2	6	3	8	3	1	5	5	0

- 1 若者・子育て世代の定住促進
- 2 企業誘致の推進
- 3 多種多様な働く場の創出
- 4 牛久沼などの地域資源の活用
- 5 大規模公園の整備・リニューアル
- 6 駅周辺の賑わいづくり
- 7 スポーツ・レクリエーションを核としたまちづくり
- 8 生涯学習・文化芸術活動の盛んなまちづくり
- 9 防災・減災対策
- 10 昔ながらの集落の維持・活性化
- 11 大規模集客施設を中心とした賑わいの創出

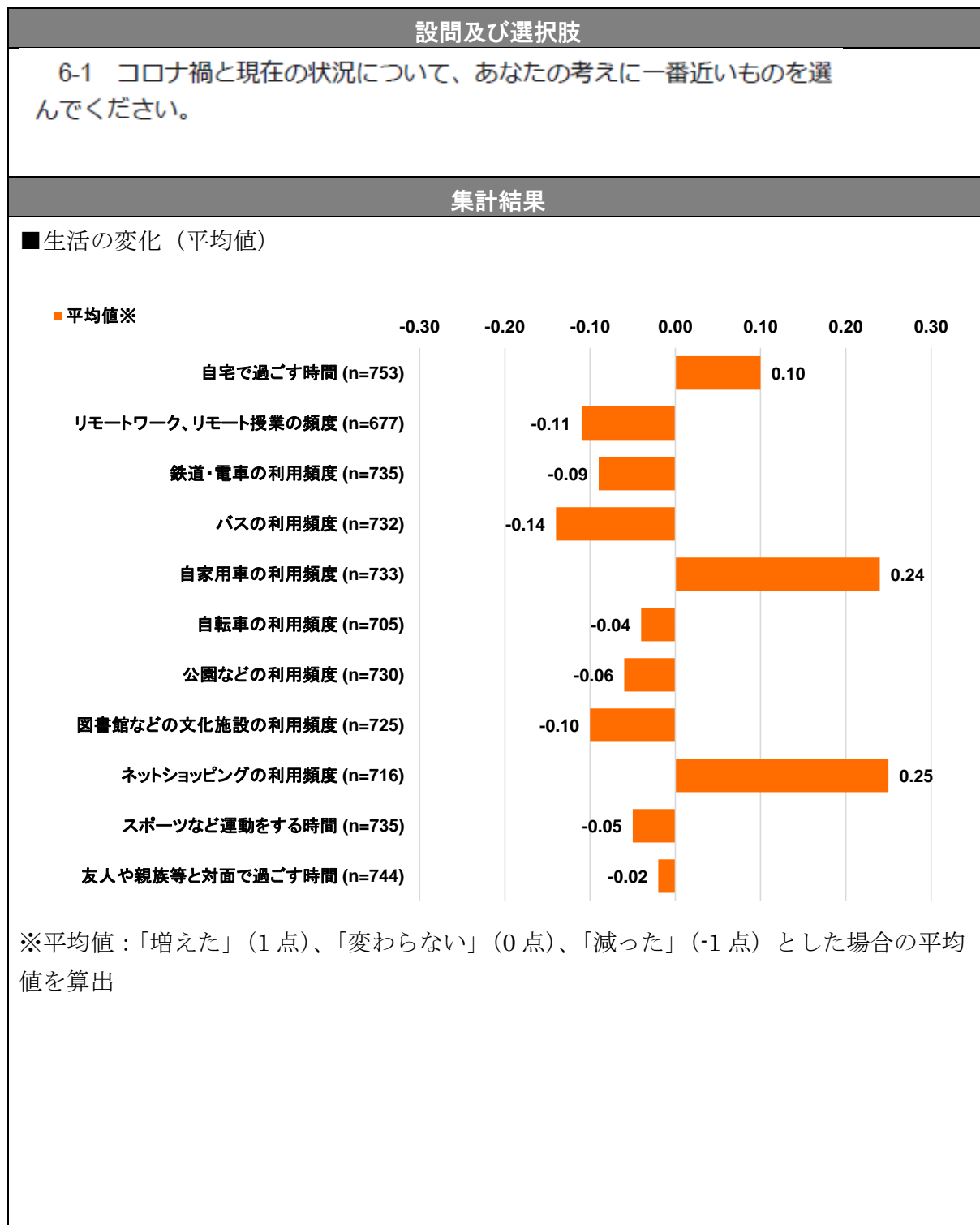
- 12 公共交通網の充実
- 13 歩行者や自転車にやさしいまちづくり
- 14 都市や高速道路に直結する幹線道路の整備
- 15 危険な空き家等のない良好な居住環境
- 16 人口減少に対応した持続可能でコンパクトなまちづくり
- 17 農業を活かしたまちづくり
- 18 自然環境を活かしたみどり豊かなまちづくり
- 19 環境に配慮された地球にやさしいまちづくり
- 20 デジタル化の進んだ効率的で便利なまちづくり

※各項目の上位1位を赤色：■、上位2位を橙色：■、上位3位を黄色：■とした。

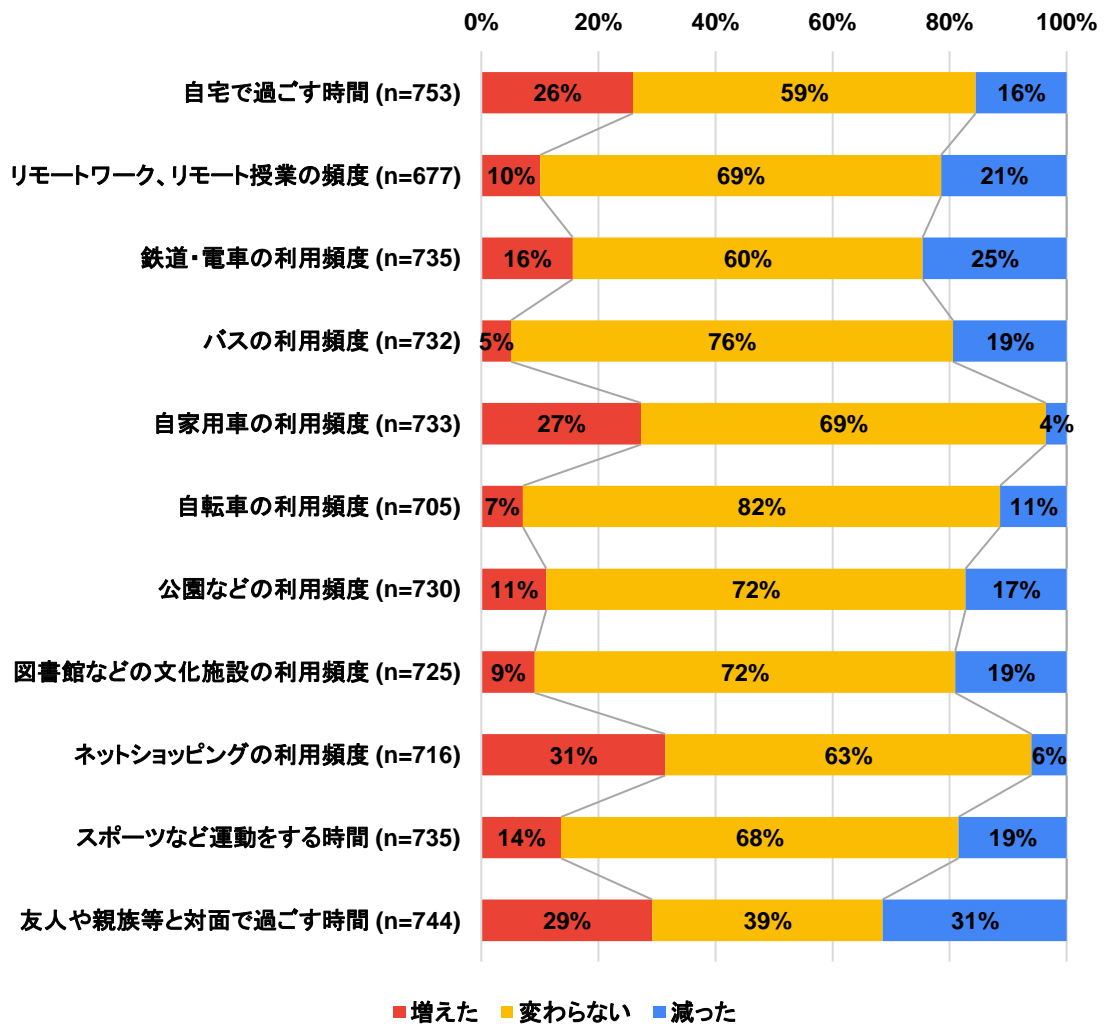
3.6. コロナ禍と現在での生活の変化

「増えた」(1点)、「変わらない」(0点)、「減った」(-1点)とした場合の平均値を算出した。

最も変化の度合いが高いのは「ネットショッピングの利用頻度」(0.25)、次いで、「自家用車の利用頻度」(0.24)「自宅で過ごす時間」(0.10)、の順となっている。



■ 参考



3.7. 龍ヶ崎のまちづくりについての意見

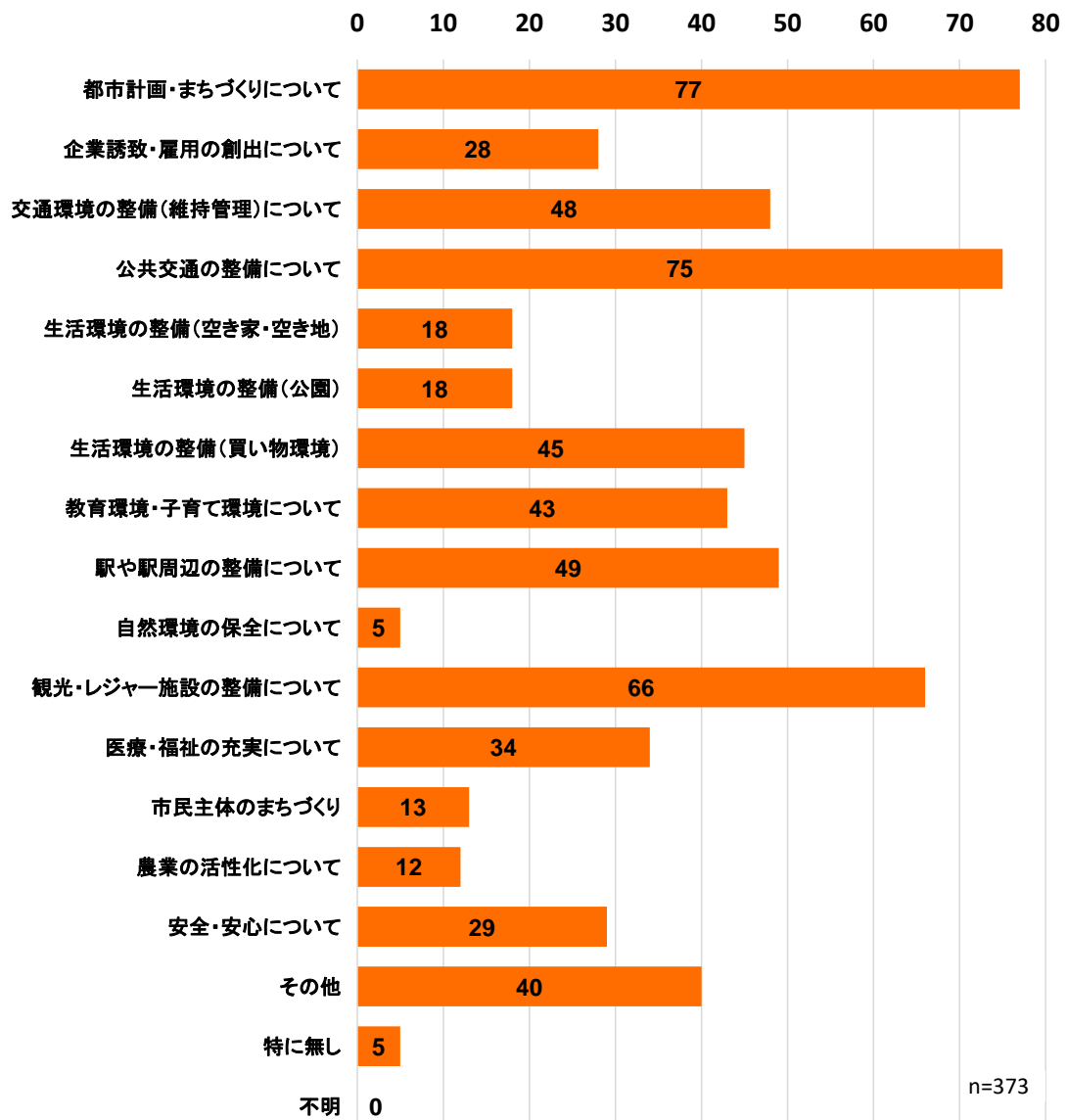
龍ヶ崎市のまちづくりについて意見の自由記述回答者数は 373 名であった。

分野別に意見数を見ると、「都市計画・まちづくりについて」の意見が 77 件と最も多く、次いで「公共交通の整備について」が 75 件、「観光・レジャー施設の整備について」が 66 件となった。

主な意見の概要を以下に示す。

設問及び選択肢
7-1 最後に、龍ヶ崎市のまちづくりについて、あなたの考えをお聞かせください。

集計結果



※意見数：605件（回答者が複数分野について回答している場合は重複して計上）

■主な意見

分野	意見
都市計画・まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画の見直しと開発等のバランスがとれるようお願いします。 大規模な図書館を建設して頂きたい。 ニュータウン等の台地等の災害に強い特徴を強みに、大型ショッピングセンター・レクリエーション施設等の集客、仕事の創造で、若い人達が住みやすい街になる事を期待しています。龍ヶ崎市だけでなく近隣市町村を巻き込み、まちづくりを考える必要があると考えます。 町を豊かにしてほしい。豊かとは幸福度が高く財力のある町。その為に来街者を増やす、町の移住者を増やす。来街者や移住者を増やすとは町の魅力をあげる事。 地域に存在している施設や建物などの資源をできるだけ活用するのはもちろんですが、身近な居住環境を改善して、1人1人の生活の質が高められるといいなと思っています。 人口減少に伴う財政規模の縮小に関して既存の施設の縮小に取り組むべきだと思う。
企業誘致・雇用の創出について	<ul style="list-style-type: none"> 取手市の寺原小跡地に前田製作所を誘致したように、学校の（閉校した）跡地に企業誘致をして、市税への還元ができるようにしたいと思う。 隣町の阿見町のように、大型店の誘致や、法人税がたくさん見込める企業に来てもらえるように、もっと外に目を向けて欲しい。特に近辺は周りの市町村に追い抜かれ何の特色もない市になってしまっているのが残念だ。市の一部身内企業だけが潤うようでは、人口が増えないし、市の未来はない。 若者世代へのアピールが定住者を増やすためには必要だと思います。私は、妻が龍ヶ崎で働いていたので、こちらに移住しました。そのような例もあるので、職、雇用を作るのが効果あるかと考えます。 大型ショッピングモール（イオンモール）を誘致してほしい。しばらく市内に映画館が1つもないというのは、移住者が増加しづらい要因だと思います。 企業誘致、起業支援など子育て世代が龍ヶ崎市内で働きながら住める環境がもっと充実すれば、税収も増え活性化につながると思います。
交通環境の整備（維持管理）について	<ul style="list-style-type: none"> 町の安全と美化のためにも、もう少し早め（夏休み前の）の道路の植え込みの除草作業と選定をお願いします。特に通学路に当たる道。 普段、車いすで移動していますが、横断歩道の段差や坂でつまづき動けなくなることがあります。徒歩や自転車、バイクや自動車が圧倒的に多いのは分かりますが、数少ない車いすユーザーだからこそ気づくことが多くあります。龍ヶ崎市には、障害のある人に優しい街になってほしいと思います。 道路工事等の公共事業が減少し市道にひび割れなどが多く見られ車の走行に支障、振動などが生じている。強い雨が深く割れ目から水が入り陥没の恐れがあると思われる。

分野	意見
公共交通の整備 について	<ul style="list-style-type: none"> • 電車の本数が JR、関鉄ともに増えると、働き盛りの人や若者の移住が増えるのではと思う。 • 車がないと駅を利用できないし、龍ヶ崎市駅周辺のパーキングを使うことを考えるより取手駅まで行ってそちらを利用しようという気になる。 • コミュニティバスを JR 龍ヶ崎市駅に経由していけるようにしてほしい。 • 茨城県内において、龍ヶ崎市はとても豊かな立地、恵まれた資源がある魅力ある土地だと思います。TX 沿線へ人口が流れ、いまいち勢いがない状況ですが、人口減でも持続可能なコンパクトシティ、デジタルを推進したスマートシティ化が最重要です。 • 免許返納などで車を持たない人が増える時代です。コミュニティバスなどもっと利用しやすくなると助かります。 • コミュニティバスの路線変更で、病院やスーパー、施設への行き帰りがとても不便になったと私自身も思うし、周りの友人、知人達も同じ意見です。もっと市民や高齢者の声が届く市の対応を望みます。実際、バスを使うことが出来なくなりました。 • 買い物や通勤など車を持っていないと不便で生活ができません。もっと路線バスの充実化をしてほしいです • もっとバスの本数を増やすべき。特に駅からの帰りのバスが少なすぎる。車をもたない若者も多く、高齢によって免許返納する人も今後増えていくはず。 • コミュニティバスの料金を大人も 100 円に戻すべき。 • どこでも簡単にタクシーを呼べる GO タクシーのアプリを導入すべき。
生活環境の整備 (空き家・空き地)	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家、空地が増加し管理が不十分である。草刈りをしていても草を放置しておく等の状況から安全性が問題視される場所が散見される。 • 賃貸なので戸建てを購入したいが高すぎる。中古住宅で築年数がたってもリフォーム等して、もう少し安く売ってくれば空き家も減るといいのになと思う。それか住宅購入の補助を多くしてくれると助かる。 • 牛久沼のバイパス前に廃墟の建物 5 階建てが 30 年もの間そのままになっていて、牛久沼の景観を悪くしています。早く取り壊して牛久沼の歩行者道路を作ってほしい。(安孫子の手賀沼の歩道のように) • 田畑は売却や利用変更、引き継ぎが法律で厳しく規制されていますが、田園部では規制の緩い太陽光発電所ばかりが新設されています。(中略) 不備がなければ許可されるのは理解していますが、隣の土地が太陽光発電になる前に隣の地権者と交渉(購入や利用方法等)できるような仕組みには出来ないものではないでしょうか。

分野	意見
生活環境の整備 (公園)	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てしやすいように駐車場付きの公園がもう少しほしい。ベンチの数と日陰がほしい。 • 公園のトイレをきれいにしたい。(牛久沼) • 公園の落ち葉対策を望みます。 • 一部の人の娯楽趣味で公園を私物化する事は規制した方が良いでしょう。 • 牛久沼水辺公園に遊具などがあってもっと利用する方が増えるのではないかなあと思います。 • 市道や牛久沼や公園のリニューアルや整備では、とにかく新しい設備・施設を導入しがちであるがそれは本質ではないと考える。安全・安心・快適・清潔の水準を向上させることが市民にとって有用と考える。
生活環境の整備 (買い物環境)	<ul style="list-style-type: none"> • 旧市内の商店街ではなく、大型ショッピングモールでもなく、アーケードの中、夢のある専門店が並んでいて、(中略) ちょっと散歩しても楽しくなるようなそんな一角が龍ヶ崎にも実現したらいいなと思います。 • 本屋と病院が増えるといいと思います。 • 駅前に住んでいますが本当に不便です。市内で何もするにもヨーカドーまで行かなくてはなりません。車がないので不自由です。銀行もない、服や靴を買うにももう千葉に出た方が楽なのでなんだかなあという感じです。(市にお金落ちない) • 商店街に活気が欲しい。祭りの時しか人が来ない。 • 高齢者でも手軽に利用できるデパートが欲しいです。少し車で行かないといけないので。 • まず活気のない龍ヶ崎商店街をどうにかしてほしいです。撤去するのは勿体ないし、近くに買い物や職場があると嬉しいので再活性化させてほしいです。また、駅周辺の賑やかさが足りないと思います。 • もう少し大型スーパーを増やしてほしい。 • スポーツ用品店が必要。子どものスポーツ用品を購入するために、つくばに行かないと買えず、とても不便です。
教育環境・子育て環境について	<ul style="list-style-type: none"> • 親子で参加できるようなイベントを増やしてほしい(誰でも気軽に参加できるような)。 • 障害児の親子さんの意見をすくいあげたりしてはどうでしょうか。 • スクールバスがあると便利。 • 国策にも言えることだが出産や(幼少期の)子育てばかりに目を向けている気がする。どの時期も大切で、サービスは欠かせないが、本当に金銭的に苦しいのは高校・大学だと実感している。 • 子供を産むにも特典がない! • 保育園を利用していない人にも保育料と同じように助成してほしい。 • 子どもの遊び場・居場所づくりが必要だと思います。既存の公園等を充実させるもよし、牛久沼環境の開発に合わせて行うことでもよし。(中略) 遠くに行かなくても施設を充実させ、気軽に親子で楽しめる、まちづくりの実施を望みます。 • ベッドタウンとして有利な土地なので、もっと子育て世代を呼び込むような、上手なアピールをして欲しい。東京から直通の電車があり2時間もかからないのに、地価が安いから、ベッドタウンとして都合がよいはず。野菜や米など安全で新鮮なものが子に与えられる、公園や施設もたくさんある。施設が比較的新しいうちに、もっと宣伝すべき。 • 若者が増えるように対策をした方が良いでしょう。

分野	意見
駅や駅周辺の整備について	<ul style="list-style-type: none"> • JRの駅周辺の開発をしなければ龍ヶ崎市の発展はないと思います。 (中略) 無駄な税金を使うなら、駅周辺の根本的開発をするべきだと思います。 • 駅のロータリーに送迎専用の待機場所を増やしてください(東口)。タクシープールばかり広くて、混雑時には車が止まる場所がなく渋滞が起きてとても危険です。牛久駅や取手駅のように車が余裕をもって停められるスペースを作ってほしいです。 • 牛久沼公園を整備、龍ヶ崎の玄関(アピールポイント)とすること。駅の周辺を近代的に創りかえること。 • 子育てにいい環境なので、ベッドタウンとしての魅力をアピールできたらいいと思う。個人的には将来は駅ビルのある駅と直結しているような高齢者向けのマンションを購入したいと思っているが、龍ヶ崎駅はそういう開発は難しいのでしょうか。
自然環境の保全について	<ul style="list-style-type: none"> • 桜の木を花が咲く前に切るのは残念です。 • 道の駅という形でなくても良いので、牛久沼周辺の景観を生かして整備してほしい。 • 牛久沼の美しい景観の横に、廃墟ビルがあったり、鉄くずが積み上がった置き場があったりで、本当にかっかりしてます。なぜ建築許可を出すのか、市は本当に牛久沼を財産と思っているのか疑問。 • 牛久沼の水質汚染についてはどのような見解をお持ちでしょうか？
観光・レジャー施設の整備について	<ul style="list-style-type: none"> • 道の駅建設は反対です。建設予定地がとても不便な所だからです。 • 駅周辺の無料駐輪場。リブラ跡地の再構築。温泉施設(スーパー銭湯)の増設。気軽に通える事務・スポーツができる場所。市役所に食堂、展望レストランなど希望。 • 公共交通網の充実を図りつつ、まちづくりをしていってほしいと願っています。(中略) 西部、旧市街、サプラスクエア辺り、東部でそれぞれ特色ある地域化して、それぞれに行く人が増えるようにできないかと思う。 • 道の駅もあれば利用したい。お金をかけるなら中途半端な物は作らない。地盤が悪ければ、牛久沼の見える高台に作るか、現在廃墟となっている建物の後地に作るなど、景観が悪いので廃墟は早く撤去して後地を有効利用したほうが良いと思います。 • 道の駅整備中止を希望します。軟弱な地盤に税金や国費を使うのはもったいない。それを子育て世代に色々な型で使って欲しい。 • 図書館、市役所、駅などすべての箱物において素敵さがない。道の駅も作るなら半端なものなら作らない方が良い。 • 映画館やイオンなど大型施設が欲しいが今の緩い感じの雰囲気とかは過ごしやすく田んぼなどの景色は好きなので良い感じに観光設備として整えて観光客とか呼べる感じにして龍ヶ崎を盛り立てて欲しい。コロッケだけじゃかなり弱いと思う。 • 色々な視点で市の魅力をアピールする事で知名度が上がり、ブームではない魅力的な地域となればなお良い。但し、節度ある発展で自然を守らなければ本末転倒。ただの地方の町では魅力などない。

分野	意見
医療・福祉の充実について	<ul style="list-style-type: none"> • 龍ヶ崎に大型の総合病院がもっとあればと望みます。医院は多く存在していても通院の科によっては数が少ない為、混雑。例えば、皮膚科、耳鼻科などたくさんの科のある大きな病院があればもっとスムーズに病院に通えます。 • 老人が多くなっている昨今、住みづらくなってまいりました。乗り物が少ない為、買い物、病院に生きづらくなっています。 • うつ等、精神疾患、障害年金該当しない場合等、中度と判断された場所サポート（公的）がない。母子家庭の補助はあるが、病人をかかえる家庭のつらさをカバーする制度が必要！自立支援は助かっている。 • 商店街を今後どうして行くのか、高齢化に伴い、福祉をどう利用出来るのか、市民が理解しているのかを明確に調査した方が良いと思います。子育てが大事なのは十分分かりますが、1人暮らしの高齢者が不安なく、暮らせる様にして欲しいです。障害を持っている人も同様、受けれるサービスを少しでも周知して欲しいと思います。税金を正しく使用して下さい。 • 生活の支援のサポート体制が足りていない。シルバー人材の運営に問題あり。（中略）利用したい人と人材センターを上手につなげてほしい。高齢者、単身者へのサポート体制を作って欲しい。 • 高齢者の住民も多いため、基本的な食料品を販売する店がもっと遍在するようになってほしい。若年層の私でも最寄りのスーパーやコンビニがそれなりに遠いのは不便だと感じる。先進的な発展を目指すよりは、幅広い層の住民が不自由なく基本的な生活をする事ができる街になってほしい。
市民主体のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 自治会を民間委託してください。人口が減っているのに従来通りは難しい。 • 地域によって違うと思いますが、私が今の所に引越して来た時は町会の仲間に入れてもらえず、よそ者扱いされ今も町会には入っていません。町会の皆さんの考えが古くて新3者を受け付けないという考えです。よそから来た人を皆で助け合う町づくりであってほしいです。 • お祭りなどに参加したいが、いつどこで、何がやっているのかわかりづらい。（中略）HPを見てもとくに何も書いていないということが毎年ある。 • 強制的な募金や町内の集まりが非常に嫌です。出来もしないアンケートも不必要だと感じます。
農業の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> • 農家ではありませんが、近所の田畑が荒地、太陽光施設ばかりになっています。農家以外の方、隣地の方が田畑を購入し利用出来るようにしてほしい。 • 龍ヶ崎の美味しい野菜や米をアピールしていくために、農業の商業化を検討して欲しい。 • 産直野菜が豊かで自然をアピールしたまちづくり

分野	意見
安全・安心について	<ul style="list-style-type: none"> • 犯罪が増えているのに防犯カメラが少ないように感じる。防犯カメラが補助金を出すなどして、増やしてほしい。 • 街灯が少なく夜道が怖いです。 • 自転車のマナーについて→私は健康上の理由で車・自転車乗らないですが、歩いているととても怖いです。すごいスピードで歩道を追い抜かれたり、暗くなってもライトをつけなくて至近距離まで気づけなかったり、すごく多いです。警察の方も取締してもらえると助かりますが、市でも啓発してほしいです。(りゅうほーに定期的に”これは違反です”とのせてもらうとか) • 最近、全国ニュースになったとある地区の火事(強風で被害が拡大した1件)が課題になっているのではないかと。防災対策もそうだが、道路が封鎖されてしまい、あの日は遠回りで帰宅しなければならなくなった。 • 川の一層の堤防(土のう)の補強をお願いしたいです。 • 子どもが減っており、小中学校の統廃合も出てきています。使用しなくなった施設をどうするのか、、災害時の避難場所として利用するとしても、トイレや冷暖房の設備の整備、維持、管理も必要です。 • 夜になると暴走族の音響が響く街が、牛久沼に駐車場を設けたら集会するにはもってこいの暴走族のメッカになってしまう。そこにランニングコストを毎年費やすのは悲し過ぎる。財政を圧迫して、暴走族を活発化させてどうするの？ • 昨今の自然災害は、今までの経験では対応できない規模になっています。市民も他人事ではなく、人任せではなく、公民一丸となって考えなければならないのではないのでしょうか • 災害に対して強く、デジタル化の進んだ新庁舎をニュータウンのある高台に建て、その新庁舎を中心としたコンパクトな町にして、行政コストをなるべく少なくしていただきたい。 • 公共事業は全て防災と結びつけて行い、防災都市的なものを完成させて、人口増につなげたらどうかと思う。防災の内容も避難より回避する事業が欲しい。牛久沼道の駅関連では、どれだけ災害回避的価値があるのかわからない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 自治会にいろんな事を丸投げしている感がある。もう少し市の方で動いてほしい。 • 駅名を変えたり、道の駅を作ろうとしたり、税金の使い道が納得いかないことがあった。 • 外国人のマナーの悪さが目立つ。ゴミ捨て問題など